

名古屋学芸大学 地域連携推進研究機構年報

第4号
2023年9月

第4号
2023年9月

目 次

年報第4号発刊にあたり 地域連携推進研究機構長 岸本 満	1
I. 地域連携推進研究機構	
1. 機構の役割	3
2. 運営委員会	3
3. 部会(ワーキンググループ:WG)活動	4
4. 共同研究	8
5. 地域連携データベースの構築	9
6. 大学公開講座開催	9
7. 日進市共催大学連携講座開催	11
II. サービスラーニング(SL)センター	
1. 活動概要	16
2. SLセンターの目的	17
3. 学生のSL登録・参加概要	17
4. ボランティア要請及び派遣件数	20
5. ボランティア派遣実績	22
6. SL参加学生の体験報告(抜粋)	24
7. 防災人材育成プログラム	27
8. スキルアップ講座等	29
9. 復興支援活動	29
10. 資料	32
III. 2022年度の地域連携活動データ	
1. 活動件数	44
2. 活動一覧	47
IV. 資料	
1. 名古屋学芸大学地域連携推進研究機構規程	76
2. 連携協定一覧	79
3. 2022年度地域連携推進研究機構運営委員会委員名簿	80
4. 2022年度食育教材開発WGメンバー名簿	81
5. 2022年(株)芋銀との産学連携プロジェクトWGメンバー名簿	82

年報 4 号発刊にあたり

新型コロナウイルス感染症は、2023 年 5 月 8 日から「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の新型インフルエンザ等感染症から、5 類感染症に変更され、季節性インフルエンザと同等の扱いとなりました。また、5 類感染症への移行に伴い「学校保健安全法施行規則」の一部が改正され、「学校において予防すべき感染症」の第 2 種（児童生徒等の罹患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症）に位置付けられて出席停止期間の基準が「発症した後 5 日を経過し、かつ、症状が軽快した後 1 日を経過するまで」になりました。さらに、学校における衛生管理マニュアルが改定され、基本的な感染症対策が見直されました。

コロナ禍で地域連携・SL（サービスラーニング）活動件数は減少しましたが、2022 年度後半から、とりわけ 2023 年度 5 月以降においては各自治体様、各企業様等からの連携事案や SL 案件の相談や依頼が徐々に増加しコロナ禍以前の活動状況に戻ってきました。

名古屋学芸大学では各学部の特徴と専門性を背景に、自治体や企業等との共同プロジェクトが数多く展開されています。このような連携活動は、学生にとって貴重な経験の場であり、成長する機会です。高等学校での 3 年間、コロナ禍で様々な制約を受けながらもたくましく乗り越えてきた新入生には本来の学びに加え連携活動でも大きく成長して欲しいと願っています。学生は活動の中で専門のスキルを活かし、学部・学科・専攻を超えたメンバーと協働します。プロジェクトに参加した学生は、考える力、チームで挑戦する力、リーダーシップなどのスキルも高めます。

本機構は「地域連携を教育や研究と結び付け相乗効果を図る体制の促進」を 2023 年度の課題に掲げ 11 の事業計画を策定しました（P.2 資料参照）。そのうち、Web、LINE 等で大学内外に情報発信する事業は学生、教職員の活動や活躍を、適時に、効果的に学内外に発信することを目標にしています。現在、本機構 WebSite をリニューアルし、公式 LINE ないし公式 Instagram の開設を準備しています。

2022 年度、本学は文部科学省が実施する「令和 3 年度私立大学等改革総合支援事業」において、タイプ 3「地域社会への貢献」（地域連携型）に採択されました。この事業におけるタイプ 3「地域社会への貢献」（地域連携型）とは、地域と連携した教育課程の編成や地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会、雇用、文化の発展に寄与する取組を支援するもので、地域連携体制の構築、自治体や産業界等と連携した研究（産官学協同研究センターほか）、公開講座の実施、地域の就業者向けプログラムの実施（管理栄養学部、栄養科学研究科ほか）、ボランティア活動に関する取組（SL センター）、地域貢献活動や学生の教育実践の場の設置（子どもケアセンターほか）、寄附講座の開設（栄養科学研究科）、自治体等の要望による講師派遣、自治体等と連携した社会人対象の地域防災等に係るプログラム（防災人材育成プログラム）の実施、社会人対象の地域経済活性化に係るプログラム（栄養科学研究科）の取組などが評価されました。

本機構は健康・栄養研究所、産官学協同研究センター、子どもケアセンター、SL センターそして各研究科、各学部、各学科、各研究室が行う地域連携、社会貢献活動の情報を収集

し、それらを「つなぐ」、「むすぶ」、「ひろげる」役割を担っています。教職員や学生の活動を支援し、活躍を紹介し、地域連携活動やSL活動に参画する意欲を高め、機会を提供して参ります。引き続き、地域の自治体、企業、団体の皆様とも、連携、研究、ひとつづくり、ものづくり等を協働し、地域課題や生活者の課題を一緒に解決してまいります。

2023年7月26日

地域連携推進研究機構長
サービスラーニングセンター長
岸 本 満

資料

2023年度 地域連携推進研究機構 課題

「地域連携を 教育や研究と結び付け 相乗効果を図る体制の促進」

2023年度 地域連携推進研究機構 事業

1. Web、LINE 等による大学内外への情報提供と広報活動
2. 大学主催又は共催の社会貢献活動（公開講座、防災人材育成プログラムほか）
3. 日進市との連携活動（大学連携講座開講、こども大学にっしん開講ほか）
4. 連携協定先、自治体、企業、他大学、高等学校等との連携
5. 自治体、企業等との協定締結に向けた実績づくりの推進と各部署との協働
6. 産官学協同研究センターとの情報共有、相互支援
7. 学生提案型地域連携プロジェクト事業の検討
8. 連携PJ、SL に取り組む学生数の増加と啓発
9. SLC 運営とイベント
10. 機構業務効率化 / 運営委員会 / WG 活動
11. 地域連携活動 DB 構築 / 年報発行 / 私立大学等改革総合支援事業

I. 地域連携推進研究機構

1. 機構の役割

地域連携推進研究機構は、本学の地域連携推進の基本方針等を定め、施策を推進するための全学組織として、2019年4月に設置されました。

全学組織としての機構の役割は、自治体、産業界、教育研究機関、NPO等の団体、その他地域社会と大学・教職員・学生を「つなぐ・むすぶ・ひろげる」ことであり、次の図1に示すような大学の地域連携活動の総合窓口となるものです。その業務は、1) 地域連携推進に係る方針の策定に関すること、2) 地域連携研究の実施、社会実装の推進及びその支援に関すること、3) サービスラーニングセンターの運営に関すること、4) 地域連携、地域貢献活動及び関連する教育・研究成果の広報に関すること、5) 公開講座の実施・運営に関すること、6) その他全学的な地域連携推進に関することです。

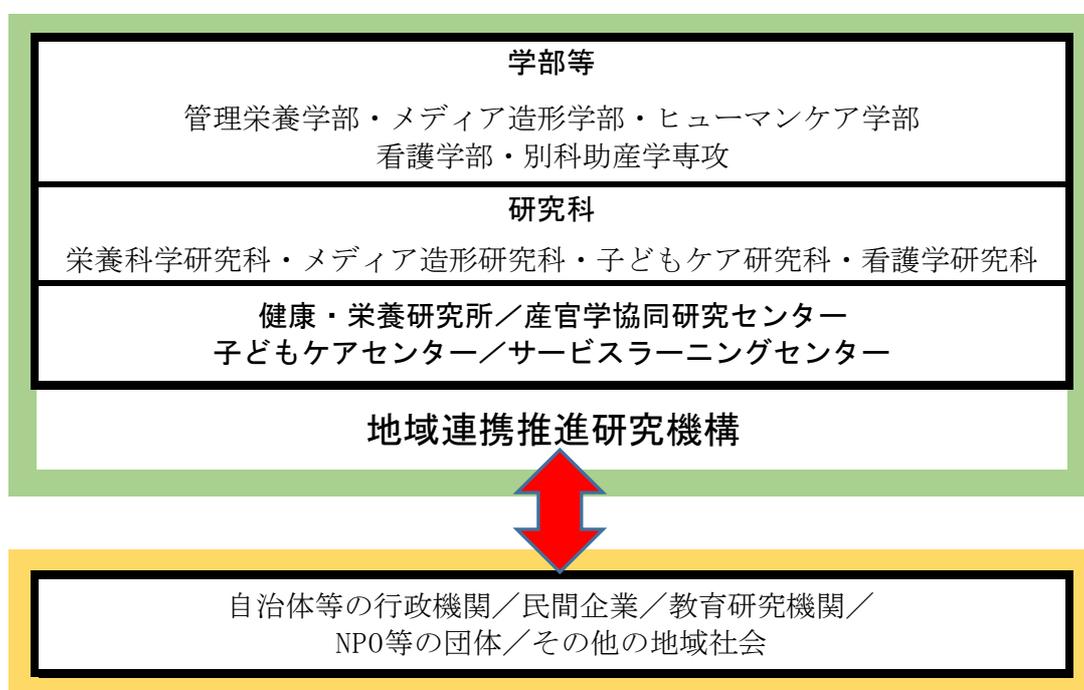


図1 地域連携活動の総合窓口

2. 運営委員会

地域連携推進研究機構の重要事項を審議するため運営委員会を6回(隔月)で開催しました。2022年度に各運営委員会で議論された主要な議題を以下に示します。

(委員名簿は巻末に掲載)

第1回 (2022年5月12日) 於 レ・アール会議室

1. 名古屋学芸大学公開講座開催について
2. 2022年度日進市大学連携講座の開催計画について

- 3. 連携・SL活動の学内外への情報発信について
- 第2回 (2022年5月19日) メール会議
 - 1. 榊芋銀との産学連携プロジェクトの開始とWG(部会)の編成について
- 第3回 (2022年7月7日) 於 レ・アール会議室
 - 1. 日赤愛知県支部との災害時食事支援キッチンカープロジェクトのメンバー募集
 - 2. 榊芋銀との産学連携プロジェクトの開始とWG(部会)の編成について
 - 3. 東白川村との連携プロジェクトについて
 - 4. 連携・SL活動の学内外への情報発信について(継続審議)
 - 5. 100万円以上の来年度予算申請について
- 第4回 (2022年9月1日) 於 レ・アール会議室
 - 1. 地域連携推進に係る方針の策定について
- 第5回 (2022年11月10日) 於 レ・アール会議室
 - 1. 食育教材開発プロジェクト部会(WG)活動継続について
 - 2. (一社)ヒガシノ団地が行う「トライアルレジ」の情報提供について
 - 3. 名古屋製酪(株)(スジャータめいらく)との共同研究プロジェクトについて
 - 4. 来年度名古屋学芸大学公開講座開催について
- 第6回 (2023年1月12日) メール会議
 - 1. 南相馬市SL:「食と環境を考えるプロジェクト」の実施について
- 第7回 (2023年3月1日) 於 レ・アール会議室
 - 1. 「地域連携カード」作成、提出及びDB作成の効率化について
 - 2. 2023年度日進市大学連携講座の開催計画について
 - 3. 2023年度日進市連携講座「子ども大学にっしん」開催計画について

3. 部会(ワーキンググループ:WG)活動

(1) 食育教材開発WG

地域連携推進研究機構規程第13条に定める運営委員会の「部会」であるワーキンググループは、4学部を繋ぎ、各学部の特色や専門性を地域連携活動に反映させることを目標に、機構と運営委員会から付託された課題について調査、研究し、問題解決策の提案等を行うとともにそれらに基づく計画の企画・推進に携わります。

2021年度、管理栄養学部、ヒューマンケア学部、メディア造形学部の教職員と学生が参画するプロジェクト「地域ニーズに即した食育教材の開発」と「開発教材の教育実践」がスタートしました。2022年度は、①愛知の米と米料理の文化を学ぶ教材、②腸内細菌と食べ物で腸内フローラを整えることを学ぶ教材、③バランスの良い食生活について学ぶ教材(ターベルの研究所)の3つの食育教材を開発、2022年6月18日・19日に愛知県で開催された第17回食育推進全国大会で発表しました。開発した3つの教材は、「食育教材で楽しく学ぶコンテンツ<食育教材のお披露目>コーナー」で展示、来場者に学びを体験していただきました。(WGメンバーは巻末に掲載)

<https://www.nuas.ac.jp/profile/news/2022/220708.html>



第17回 食育推進全国大会 in Aichi で食育教材を発表した学生たち
(2022年6月18日・19日)

(2) ㈱芋銀との産学連携プロジェクトWG

2022年度11月、㈱芋銀より連携協力を求められ課題解決型プロジェクトが企画され活動がスタートしました。管理栄養学部、ヒューマンケア学部、メディア造形学部、看護学部の四学部の教職員8名でワーキンググループを編成し、研究・開発、人材育成、SDGs等に関連したプロジェクトを立案し、2023年度に向けて活動を開始しました。

(WGメンバーは巻末に掲載)

2023年4月1日、株式会社芋銀と名古屋学芸大学地域連携推進研究機構は、新しい価値を創造、実行しフルーツの摂取と消費の拡大を目指す諸活動において、①フルーツの摂取と消費拡大に関する企画実施に関すること、②教育、人材育成に関すること、③各種の学術的研究に関すること、④その他協議して定める事項について連携、協力するため「産学連携に関する協定書」を締結しました。

(3) キッチンカープロジェクトWG

日本赤十字社愛知県支部と名古屋学芸大学は、連携協力協定に基づき、2021年10月「災害時の食の支援のためのキッチンカーの活用」において覚書を締結しました。日本赤十字社愛知県支部が実施する災害時の避難所の設置に係る要配慮者に対する支援事業において、キッチンカーを活用して高齢者、母子、慢性疾患者等要配慮者への食事支援を効果的に実施するため名古屋学芸大学と共同プロジェクトを行うというものです。

2022年4月には「共同研究契約書」が交わされ、プロジェクトが本格スタートしました。(P.6表参照)

表：キッチンカープロジェクトのテーマ・目的・内容・分担者

研究題目	災害時の食の支援のためのキッチンカーの活用に関する研究		
研究目的	日本赤十字社愛知県支部が実施する、災害時の避難所の設置に係る要配慮者に対する支援事業において、キッチンカーを活用した高齢者、母子、慢性疾患者等要配慮者への食事支援の効果的な実施方策の検討		
研究内容	(1)HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施 (2)災害時の炊き出しメニュー（支援対象者ごと）の作成		
研究分担 (研究担 当者及び その役割)	氏名	所属部局等・職名	本研究における役割
	岸本満	管理栄養学部・教授 地域連携推進研究機構・ 機構長	食品安全衛生管理（FSMS）マニュアル 等の制作および、計画（P）・実施 （D）、評価（C）、更新（A）活動
	塚原丘美	管理栄養学部・教授	メニュー及びレシピの作成・試作・提案
	日暮陽子	管理栄養学部・准教授	メニュー及びレシピの作成・試作・提案
	青山桃子	管理栄養学部・助手	メニュー及びレシピの作成・試作・提案
	石原貴代	ヒューマンケア学部・講師 地域連携推進研究機構・ ボランティアコーディネーター	甲の分担研究活動の進捗管理と乙との 連絡調整

2022年度は以下の活動を実施しました。

①見学

- ・**第1回** 2022年3月17日（木）（日本赤十字社愛知県支部）
10：00～
参加者：教員：岸本・日暮・青山・石原
客員研究員：今井・仙田（富士産業）
学生：環境衛生学研究室：2名、Canteen：2名
内 容：デジカメ、ムービーでキッチンカー設備等の撮影、調理道具などを入れる
ため設備の採寸。調理機器の配置と調理手順、操作、導線確認。
- ・**第2回** 2022年4月8日（金）（日本赤十字社愛知県支部）
10：00～、10：30～、11：30～の3部に分かれ見学
参加者：教員：塚原・日暮・青山
学生：環境衛生学研究室：6名、Canteen：18名
内 容：4月23日の試作打ち合わせ及び事前準備、キッチンカー内の清掃

②試作

- ・**第1回** 2022年4月23日（土）（日本赤十字社愛知県支部）
参加者：日本赤十字社愛知県支部職員：工藤様・近藤様・稲垣様
教員：岸本・日暮・青山・石原
学生：環境衛生学研究室2名（9:00～）同2名（13:00～）
Canteen 4名が9:45～、午後の部では1名が13:45～試作

内 容：Canteen：調理器具の搬入・配置、調理準備・調理・盛り付け、試食、片付
環境衛生学研究室：衛生管理マニュアルの検証、改善を目的にした衛生管
理活動、調理者の観察。(キッチンカー内に小型カメラ3台を設置、動画記
録)

献 立：午前：ポークカレーライス、コーンスープ
午後：鶏のトマト煮、蒸し野菜サラダ、ご飯

・第2回 2022年5月29日(日)(日本赤十字社愛知県支部)

参加者：日本赤十字社愛知県支部職員：工藤様・近藤様・稲垣様・清水様

教員：岸本・日暮・青山・石原

学生：環境衛生学研究室：4名 Canteen：3名 9:45～

内 容：Canteen：調理前打ち合わせ・車内清掃、準備、衛生管理マニュアルに沿っ
た調理、試食

環境衛生学研究室：衛生管理マニュアルの検証、改善を目的にした衛生管
理活動、調理者の観察

献 立：豚の生姜焼き、けんちん汁、ご飯

・第3回 2022年7月2日(土)(日本赤十字社愛知県支部)

参加者：日本赤十字社愛知県支部職員：工藤様・近藤様

教員：岸本・日暮・青山

学生：環境衛生学研究室4名(午前2名、午後2名)、

Canteen 7名(午前：4名、午後3名)

客員研究員：今井・仙田(富士産業)

名古屋大学：大学院情報学研究科 枝廣先生

内 容：Canteen：調理器具の搬入・配置、調理準備・調理・盛り付け、試食、片付け
環境衛生学研究室：衛生管理マニュアルの検証、改善を目的にした衛生管
理活動、調理者との共有、調理活動の観察。(キッチンカー内に小型カメラ
3台を設置、動画記録、アンケート回収)

献 立：午前：キンパ丼、韓国風サラダ

午後：鮭と枝豆・しらす干しと枝豆のおにぎり、高野豆腐の煮物、きのこ
とわかめのみそ汁

・第4回 2022年7月31日(土)(日本赤十字社愛知県支部)

参加者：日本赤十字社愛知県支部：工藤様・稲垣様

教員：岸本・日暮・青山

学生：環境衛生学研究室：2名、Canteen:5名

内 容：Canteen：調理器具の搬入・配置、調理準備・調理・盛り付け、試食、片付け
環境衛生学研究室：衛生管理マニュアルの検証、改善を目的にした衛生管
理活動、調理者との共有、調理活動の観察。(キッチンカー内に小型カメラ
3台を設置、動画記録、アンケート回収)

献立：サツマイモと塩昆布の炊き込みご飯、小松菜としめじのたまごスープ、から揚げ、白身魚フライ、パイン入りヨーグルト

・第5回 2022年8月24日（水）（日本赤十字社愛知県支部）

参加者：日本赤十字社愛知県支部職員の30名の皆様

教員：日暮・青山・石原

学生：Canteen：5名 40食試作

内容：Canteen：調理器具・食品の搬入・配置、調理準備・調理・盛り付け、試食、片付け・アンケート回収。今回のメニューはアレルギー除去食でこれまでで一番手間のかかる調理方法。昼休みまでに40食の試作。

献立：ツナピーおかかご飯、ほうれん草とコーンのサラダ、すいとん（米粉）、しば漬け（アレルギー対応食：卵・乳・小麦を除去）

③プロジェクト中間報告会 2022年10月29日（土）～30日（日）：合同祭

・キッチンカー展示 10/29土 10：00～16：00 6号館前広場

・キッチンカープロジェクトに関するパネル展示

10/29土 10：00～16：00、10/30日 10：00～16：00

・プロジェクト中間発表会 10/29土 12:30～13:30 521講義室 参加者48名

地域連携推進研究機構 機構長あいさつ（岸本満）

日本赤十字社愛知県支部活動紹介（日本赤十字社愛知県支部 清水謙一様）

キッチンカーを用いてのレシピ等の発表（Canteen 学生メンバー）

衛生管理マニュアル等の発表（環境衛生学研究室4年生）

司会 SLセンター（石原貴代）

④今後の活動

・衛生管理マニュアルのデジタル化（Web制作、動画撮影等）を計画

⑤研究成果の共有

・「KITCHEN CAR RECIPE Vol.01」完成 A4版 135頁 2023年5月31日刊

内容：栄養について / キッチンカー調理の主な流れ / このレシピの使い方 / 通常食：3食（朝食+昼食+夕食）組み合わせ例 / 要配慮者対応：3食（朝食+昼食+夕食）組み合わせ例～腎不全対応食・糖尿病対応食～ / 要配慮者対応：一品ごとの対応～アレルギー対応食・軟菜（咀嚼困難対応食）・嚥下困難対応食～ / レシピ / レシピ集に寄せて

・「キッチンカー衛生管理マニュアル」完成 A4版 147頁 2023年5月31日刊

内容：HACCPの考え方を取り入れた衛生管理について / HACCPとは / HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の構築 / 衛生管理計画 / 連携先・連絡先一覧 / 管理体制 / 一般衛生管理 / 工程管理（HACCP） / 食物アレルギー / 異物混入対策 / マニュアル記録文書類 / 知っておきたい知識・食品安全リンク集

4. 共同研究

2022年11月名古屋製酪株式会社（スジャータめいらく）様から共同研究の提案をいただき、共同研究課題①「商品開発」と研究課題②「コンセプトを活かした料理の提供」について参画する教員、研究室、ゼミ等を募集しました。管理栄養学部およびメディア造形学部（産官学協同研究センター）で共同研究プロジェクトへの参画が検討され2023年4月1日付で共同研究契約が交わされプロジェクトが本格スタートしました。（以下の表参照）

表：共同研究のテーマ・内容・研究分担者

研究題目	カップ飲料「完全バランス栄養ドリンク TEBES」に関する研究		
研究内容	TEBESの効果・効能の検証・評価、 完全バランス栄養食の地場の食材を活用した献立研究、 TEBESシリーズの今後の展開の研究		
研究分担 (研究担当者 及びその役割)	氏名	所属部局等・職名	研究内容
	福岡恩	名古屋学芸大学 管理栄養学部講師	TEBESの効果・効能の検証・評価
	安達内美子	名古屋学芸大学 管理栄養学部教授	完全バランス栄養食の地場の食材を活用した献立研究
	富安由紀子	名古屋学芸大学 メディア造形学部教授	TEBESシリーズの今後の展開の研究
	杉山泰久	名古屋製酪株式会社 PDM	研究内容すべてを担当

5. 地域連携データベースの構築

各部署や教職員の地域連携活動は地域連携カード（Excel）に記入したものを集計してきましたが、Google フォームを用いた「地域連携活動データ」システムを構築しました。入力されたデータは自動集計され、自動で活動種別ごとに帳票が作成されます。2023年6月より運用を開始し、2022年度の地域連携活動について全教職員に入力を依頼しました。各自が入力したデータは各自で編集や修正ができる仕様としました。併せて、2023年度の活動案件も報告いただけるように、2023年度用のGoogle フォームも作成したので随時入力が可能になりました。

→P44～75「Ⅲ. 2022年度地域連携活動データ」参照

6. 大学公開講座開催

対面及びZOOMウェビナーを併用して開催しました。前期公開講座（2022年7月30日開催）はメディア造形学部デザイン学科の小林克司教授が担当、講座テーマは、「デザインの発想と表現について～事例からさぐるグラフィックデザインの面白さ～」でした（P.10 上段写真）。後期公開講座（2022年12月17日開催）は、管理栄養学部管理栄養学科の間崎剛講師が担当、講座テーマは、「遺伝子組換え作物ってなに？」でし

た。後期公開講座は名古屋市と共催で開催しました。(P.10 下段写真)

<https://www.nuas.ac.jp/profile/news/2022/220902.html>

https://www.nuas.ac.jp/profile/news/2022/221223_02.html



7. 日進市共催大学連携講座開催

日進市教育委員会生涯学習課と連携し、日進市生涯学習情報誌及び、日進市公式ホームページ等で参加者を募り、2022年10月～2023年3月、4学部11名の教員による講座が計11回開講されました。テーマ、内容によって開講方法が異なり、日進市の施設で対面で実施した講座、大学からZOOMで配信した講座がありました。

<https://www.nuas.ac.jp/profile/research-collaboration/renkei.html>

開催日時、開講方法、講師氏名、テーマは以下のとおりです。

- ・第1回：2022年10月8日（土）10時～11時30分 / 対面：日進市民会館小ホール
ヒューマンケア学部子どもケア学科幼児保育専攻 岡田暁子准教授
テーマ：「ピアノの発展とベートーヴェンのピアノ・ソナタの深い関係」(P.12 写真)
- ・第2回：2022年10月22日（土）13時30分～15時 / ZOOM配信
看護学部看護学科 石田路子名誉教授
テーマ：「“孤立”しない“孤独”の覚悟～人生100年時代の備えとは？～」
- ・第3回：2022年10月28日（金）13時30分～15時 / 対面：日進市民会館
ヒューマンケア学部子どもケア学科子どもケア専攻 浅野妙子名誉教授
テーマ：「新型コロナ時代の新たな口腔ケア・ブラッシング方法」(P.13 上段写真)
- ・第4回：2022年11月8日（火）10時～11時30分 / 対面：日進市民会館
管理栄養学部管理栄養学科 安友裕子講師
テーマ：「座ってできる運動で、毎日体力アップ！」(P.13 下段写真)
- ・第5回：2022年11月14日（月）10時～11時30分 / ZOOM配信
メディア造形学部デザイン学科 関義幸助教
テーマ：「陶磁器概論-自宅でやってみる陶磁器-」
- ・第6回：2023年2月14日（火）10時～11時30分 / 対面：日進市民会館
管理栄養学部管理栄養学科 伊藤勇貴講師
テーマ：「食の安全・安心を考えましょうー食品添加物と健康食品についてー」(P.14 上段写真)
- ・第7回：2023年2月17日（金）10時～11時30分 / ZOOM配信
管理栄養学部管理栄養学科 松下英二講師
テーマ：「聞くだけでなく伝えていこう、健康長寿の話」
- ・第8回：2023年2月21日（火）10時30分～12時 / 対面：日進市民会館
メディア造形学部ファッション造形学科 鷺津かの子講師
テーマ：「見える色、感じる色ー色の効果と私たちの暮らしー」(P.14 下段写真)

- ・第9回：2023年2月22日（水）10時30分～12時 / 対面：日進市民会館
メディア造形学部映像メディア学科 草野圭一准教授
テーマ：「障がい特性から“できること”の発見へ」（P.15 上段写真）
- ・第10回：2023年3月7日（火）10時～11時30分 / 対面：日進市民会館
看護学部看護学科 神谷智子講師
テーマ：「笑顔をつくって健康に！」（P.15 下段写真）
- ・第11回：2023年3月11日（土）10時～11時30分 / ZOOM 配信
看護学部看護学科 穴井美恵教授
テーマ：「オーラルフレイルを予防しましょう！～一に健口、二に健康、三四がなくて五に健幸！！～」

第1回講座 岡田暁子 准教授



第3回講座 浅野妙子 名誉教授



第4回講座 安友裕子 講師



第6回講座 伊藤勇貴 講師



第8回講座 鷺津かの子 講師



第9回講座 草野圭一 准教授



第10回講座 神谷智子 講師



Ⅱ. サービスラーニング(SL)センター

1. 活動概要(2022年4月～2023年3月)

(1) SLセンターHP掲載活動

2022年

5月28日	'22春の藤前干潟クリーン大作戦！！
5月28日	2022年度防災人材育成プログラム①災害エスノグラフィー
5月29日	やろまいか！愛・地クリーン作戦
6月4日	中日青葉学園 ボランティア説明会
6月11日	中日青葉学園 ふれあい体験
6月12日	日進絆子ども食堂 調理ボランティア
7月2日	中日青葉学園
7月9日	2022年度防災人材育成プログラム②大規模災害後の様子を知る
7月10日	中日青葉学園で子どもたちの救急法受講のお手伝い
7月10日	日進絆子ども食堂 調理ボランティア
7月11日	2022年度みなみそうま SL説明会
8月20日	こども向けイベントのイベントスタッフ（日進絆子ども食堂）
8月20・27日	スペシャルオリンピックス コーチクリニック
8月25日	秋のメニューのレンチンレシピ
8月27日	竹の山ふれあい夏祭り
9月7～11日	あいち国際女性映画祭 2022 映画祭ボランティア
9月17日	2022年度防災人材育成プログラム③DIG
9月26日	中日青葉学園 ボランティア説明会
10月9日	日進絆子ども食堂 調理ボランティア
10月22日	'22秋の藤前干潟クリーン大作戦！！
10月29日	中日青葉学園 青葉まつりボランティア
10月30日	やろまいか！愛・地クリーン作戦
11月23日	にしん環境市民討議会 2022
11月26日	2022年度防災人材育成プログラム④赤十字救急法短期講習
12月3日	12月は中日青葉学園ボランティアに参加しよう！！
12月4日	スペシャルオリンピックス愛知 みんなでダンス
12月4日	やろまいか！愛・地クリーン作戦

2023年

2月18日	防災人材育成プログラム⑤赤十字幼児安全法短期講習
2月24～27日	みなみそうま SL
3月11日	防災人材育成プログラム⑥災害時高齢者支援講習(赤十字)

(2) 長期活動・協定活動・学生要望活動

2022年

4月1日～	名古屋市トワイライトルーム
4月1日～	令和4年度「土曜学習いきいきサポーター」
7月2日	日進市にぎわい交流館 にしんわいわいフェスティバル
8月2日～	長久手市児童発達支援センターこぐまっこ 療育補助
9月11日	中日青葉学園 収穫体験&BBQ 招待
9月18日	にしん夢まつり
9月26日～	中日青葉学園 ボランティア
10月22・23日	ぼうさいこくたい 2022 in 神戸

2. SL センターの目的

本学は「人間教育と実学」の建学の精神に基づき、「人と心」をテーマに、人間のために「知と美と健康を創造」していくことを基本理念としています。学生が社会の要請に対応した社会貢献活動（ボランティア活動）に主体的に参画し、体験的学習を通じて人と交わり心を通わせ、成長することを支援します。

ボランティア活動を通じて、学びを得るという趣旨で、ボランティアセンターではなく、サービスラーニングセンター(SLセンター)と名付けられました。

3. 学生の SL 登録・参加概要

(1) SL 登録状況

2022 年度の SL(ボランティア)登録状況を表 1 に示します。在籍者数(3,169 名)に対し、登録学生数は 441 名(14%)でした。(表 1)

学科別 SL 登録者割合を図 1 に示します。

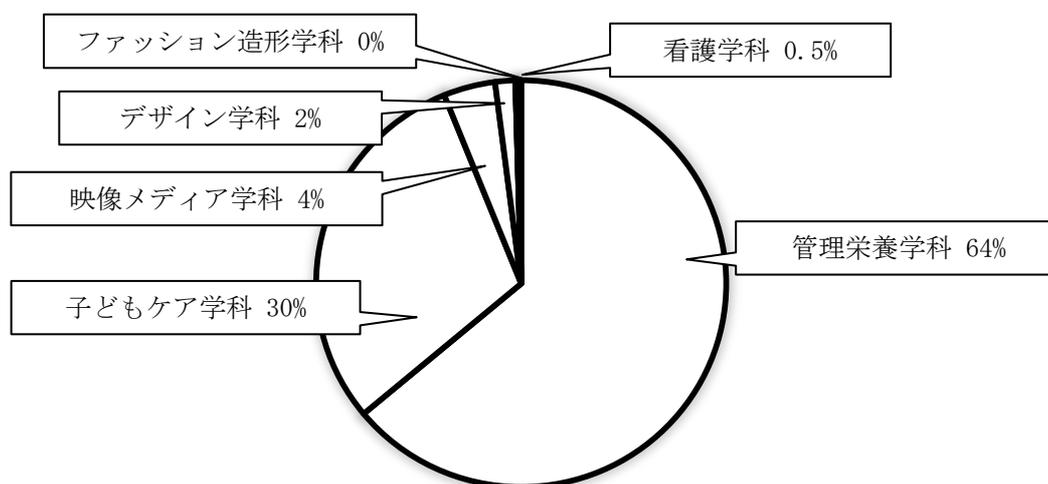


図 1 学科別 SL 登録者割合

2020 年度から 2022 年度における新規登録者数を表 2 に示します。該当年度に登録した学生が各学年に何名いたかを表しており、2020 年度は新型コロナウイルス感染症の影響でボランティア要請が少なかったため、2021 年度には 2 年次、3 年次になってから新規に登録する学生もみられました。2022 年度はボランティア要請も少しずつ戻り、登録者数も増加しました。

表1 2022年度SL登録状況

2023年3月31日現在

学部	学科	学年	在籍者数 (人)	登録者数 (人)	在籍者に対する 登録者の割合(%)
管理栄養学部	管理栄養学科	4年生	173	108	62
		3年生	173	49	28
		2年生	176	62	35
		1年生	173	63	36
ヒューマンケア学部	子どもケア学科	4年生	233	45	19
		3年生	231	21	9
		2年生	193	38	20
		1年生	235	28	12
メディア造形学部	映像メディア学科	4年生	130	6	5
		3年生	128	2	2
		2年生	127	4	3
		1年生	123	6	5
	デザイン学科	4年生	87	3	3
		3年生	87	3	3
		2年生	94	1	1
		1年生	98	0	0
	ファッション造形学科	4年生	66	0	0
		3年生	65	0	0
		2年生	72	0	0
		1年生	78	0	0
看護学部	看護学科	4年生	107	0	0
		3年生	105	1	1
		2年生	108	1	1
		1年生	107	0	0
合計			3169	441	14

※在籍者数は、収容定員・入学者・在籍者一覧等(2022年5月1日現在)より引用
<https://www.nuas.ac.jp/download/2022/2022zaigakusu.pdf>

表2 ボランティア新規登録者数 (2020～2022年度)

2023年3月31日現在 単位：人

学部	学科	学年	2020年度	2021年度	2022年度
管理栄養学部	管理栄養学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	8	7
		2年生	7	25	19
		1年生	17	43	63
ヒューマンケア学部	子どもケア学科	4年生	0	0	0
		3年生	2	7	8
		2年生	0	8	8
		1年生	5	30	28
メディア造形学部	映像メディア学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	1	1
		2年生	0	1	0
		1年生	0	4	6
	デザイン学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	1	0
		2年生	0	3	0
		1年生	0	1	0
	ファッション造形学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
		2年生	0	0	0
		1年生	0	0	0
看護学部	看護学科	4年生		0	0
		3年生	0	0	0
		2年生	0	0	0
		1年生	1	1	0
合計			32	133	140

(2) SL 参加状況

2020年度から2022年度のSL参加者数を表3に示します。

管理栄養学部、ヒューマンケア学部の学生の参加が多数を占めました。

2020年度はボランティア要請が少なかったことから、2021年度には増加し、2022年度には新型コロナウイルス感染症感染拡大前の参加状況より参加者数が大きく伸びました。これまで、参加できなかった2・3年生に加え、1年生の参加が目立ちました。

表3 年度別活動状況（2020～2022年度）

2023年3月31日現在 単位：人（延べ人数）

学部	学科	学年	2020年度	2021年度	2022年度
管理栄養学部	管理栄養学科	4年生	0	0	0
		3年生	5	15	3
		2年生	20	24	24
		1年生	3	28	53
ヒューマンケア学部	子どもケア学科	4年生	0	1	0
		3年生	5	5	13
		2年生	0	3	14
		1年生	4	25	52
メディア造形学部	映像メディア学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	2	1
		2年生	0	2	3
		1年生	0	7	9
	デザイン学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	2	0
		2年生	0	5	0
		1年生	0	0	0
	ファッション造形学科	4年生	0	0	0
		3年生	0	0	0
		2年生	0	0	0
		1年生	0	0	0
看護学部	看護学科	4年生		0	0
		3年生	0	0	0
		2年生	0	0	0
		1年生	1	3	0
合計			38	122	172

4. ボランティア要請及び派遣件数

2020年度から2022年度のボランティア要請件数と派遣件数を表4に示します。

2020年度は18件だった要請件数も新型コロナウイルス感染症の感染状況の落ち着きに伴い、2021年度と2022年度は要請数が増え、感染拡大以前の要請数(2019年度65件)に近い数字に戻りました。

学生個々に感染予防対策を徹底する指導を行い、2022年度は29件派遣することができました。

表4 ボランティア要請および派遣件数（2020～2022年度）

2023年3月31日現在

要請元及び派遣先		2020年度(4.1～3.31)		2021年度(4.1～3.31)		2022年度(4.1～3.31)	
		要請	派遣	要請	派遣	要請	派遣
1群	市町	5	2	15	5	21	8
	官公庁	1	0	0	0	0	0
2群	協定機関	0	0	5	2	2	0
	公益法人	7	0	5	2	12	3
	社会福祉法人	0	0	0	0	1	0
3群	NPO	2	1	6	3	11	8
	NGO	0	0	0	0	0	0
4群	企業	0	0	0	0	2	1
	大学	3	2	10	5	12	9
	一般	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
合計		18	5	41	17	61	29

表4に示す1～4群の群別割合を図2に示します。

(1群：市町・官公庁、2群：協定機関・公益法人・社会福祉法人、3群：NPO・NGO、4群：企業・大学・一般・その他)

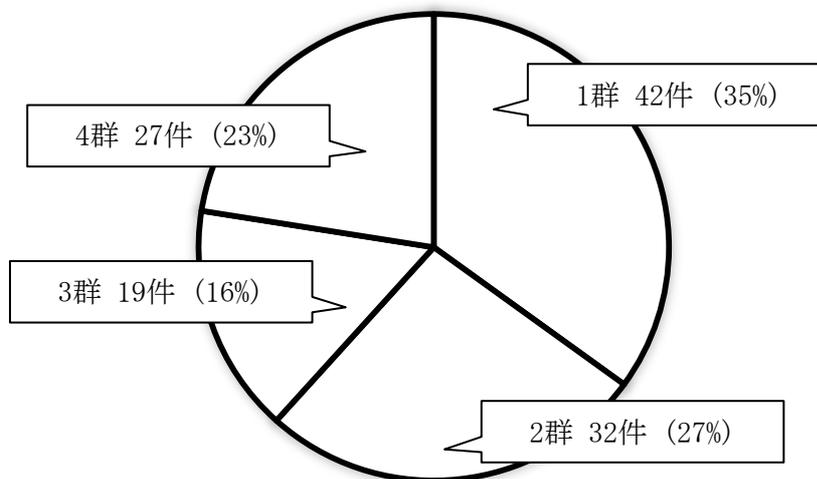


図2 群別ボランティア要請件数の割合

要請件数に対する派遣件数の割合は、新型コロナウイルス感染症感染拡大時の2020年度では28%でしたが、2022年度には48%と新型コロナウイルス感染症感染拡大以前(2019年度40%)よりも大きくなりました。

要請先においては感染対策を実施し参加しやすい環境を整えたこと、感染対策が徹底

されたことで、学生が安心して参加できる環境が整えられました。

一方で、要請数の約半数は学生を派遣することはできませんでした。学生は所属の学部・学科の学びに沿ったボランティアを希望するが多いので、専門性や学びを活用できる事案をできるだけ収集したいと考えています。また、要請先様にはテスト期間や帰省時期には学生が希望し難いので要請に応えられないことがあるため、ご依頼いただく際には3か月ほどの余裕をもって要請頂くことをお願いしています。

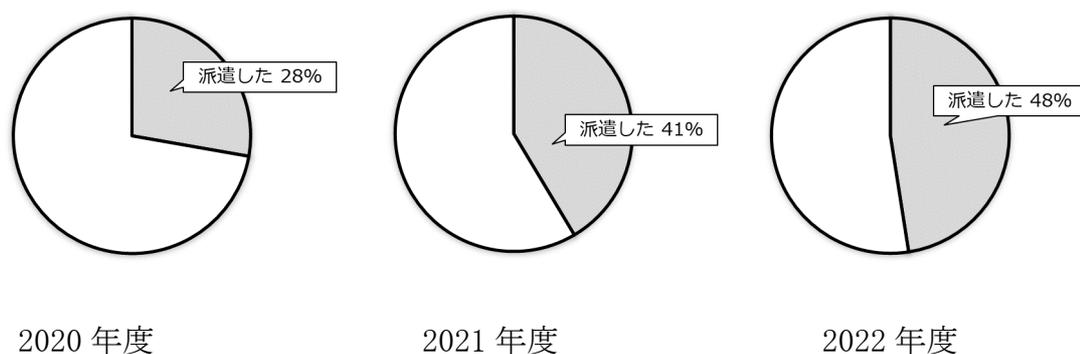


図3 ボランティア要請件数に対する学生派遣件数の割合

5. ボランティア派遣実績

2020年度、2021年度、2022年度のボランティア派遣の種類とその概要を表5-1～5-3に示します。

表5-1 2020年度ボランティア派遣実績

2020年度 (4.1～3.31)

種類(件数、人数)	概要
障がい者と接する (1件、2人)	グラウンドソフトボールの練習会の補助 ボランティア募集
イベント・祭りの運営 (1件、19人)	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2021 ボランティア募集！ (ランナー受付やコース整理などのイベント運営)
子どもと接する (2件、5人)	日進版こどものまち事業「おいでよ！子どものまち」学生ボランティア募集 おいでん家 子ども食堂
防災人材育成プログラム (2件、12人)	防災を地域の皆様と一緒に学びませんか？(防災人材育成プログラム) 防災を地域の皆様と一緒に学びませんか？(防災人材育成プログラム 2回目)

表 5-2 2021 年度ボランティア派遣実績

2021年度 (4.1~3.31)

種類(件数、人数)	概要
障がい者と接する (1件、2人)	スペシャルオリンピックス日本・愛知 スポーツプログラム
イベント・祭りの運営 (2件、39人)	あいち国際女性映画祭2021
	マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2022
子どもと接する (1件、3人)	日進版こどものまち事業
清掃活動 (1件、24人)	やろまいか!愛・地クリーン作戦!!
その他 (6件、15人)	防災ボランティアコーディネーター養成講座
	ボランティアカフェ 長久手
	名古屋城観光ガイドボランティア
	名古屋外国語大学 マスコミ業界研究グループ 「レンチンレシピ募集」
	長久手で稲作体験
	献血の呼びかけ
防災人材育成プログラム (3件、21人)	防災人材育成プログラム 1回目
	防災人材育成プログラム 2回目 DIG
	防災人材育成プログラム 3回目 一次救命処置
南相馬市SL (1件、18人)	みなみそうまSL

表 5-3 2022 年度ボランティア派遣実績

2022年度 (4.1~3.31)

種類(件数、人数)	概要
障がい者と接する (2件、3人)	スペシャルオリンピックス コーチクリニック開催のお知らせ
	スペシャルオリンピックス愛知 みんなでダンス ーダレデモダンス体験ー
イベント・祭りの運営 (2件、24人)	あいち国際女性映画祭2022
	竹の山ふれあい夏祭り
子どもと接する (4件、41人)	日進子ども食堂
	岡崎市 子ども食堂ボランティア募集
	中日青葉学園
	放課後デイサービス フォーリーフでの子供支援ボランティア
清掃活動 (2件、18人)	やろまいか!愛・地クリーン作戦
	藤前干潟クリーン大作戦!!
その他 (3件、6人)	名古屋外国語大学 マスコミ業界研究グループ 「レンチンレシピ募集」
	清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE2023 AAICサポーターズ 募集
	にっしん環境市民討議会2022
防災人材育成プログラム (6件、28人)	防災人材育成プログラム 1回目 災害エスノグラフィー
	防災人材育成プログラム 2回目 大規模災害後に備える
	防災人材育成プログラム 3回目 DIG
	防災人材育成プログラム 4回目 赤十字救急法短期講習
	防災人材育成プログラム 5回目 赤十字幼児安全法短期講習
	防災人材育成プログラム 6回目 災害時高齢者支援講習(赤十字)
南相馬市SL (1件、18人)	みなみそうまSL

※みなみそうま SL の人数は説明会と現地活動の両方に参加した学生数を示しました。

6. SL 参加学生の体験報告(抜粋)

(1) 社会福祉（高齢者・障がい者・子ども等）系活動

中日青葉学園学生ボランティア： 子どもケア学科・子どもケア専攻

中日青葉学園は、複合型児童福祉施設で、学校や家庭で生きづらさを抱えている子どものための施設でした。活動が始まる前までは、心に傷を負っている子どもへの対応についてとても悩み、どんな対応をして良いのか非常に不安でした。それぞれの子にとって、触れてほしくない話題もあるだろうと、嫌な記憶を思い出させてしまうと不安でした。しかし、実際に活動が始まると、養護実習の時と同じで、自分の言葉に反応してくれたり、会話も何の困難もなくできました。私は、活動中2人の小学生の男の子の手伝いをしました。低学年の子の方が、細かな作業が出来なかったり、職員の説明が理解できず、作業が遅かったりと、発達段階の違いを実感しました。最後は、男の子の方から、「バイバイ」とハイタッチをしてくれて、とても温かい気持ちになりました。

スペシャルオリンピックスコーチクリニック開催のお知らせ： 子どもケア学科・児童発達教育専攻

たくさん卓球をすることができると思っていたが、会場には全く卓球をしたことがない人もいたため、私が既に知っている基本的な技術から学んだが、講師の方の指導をみて幼い頃の私もこのように教わったのかと考えるとなつかしく感じられた。また、このSLは知的障害を持つ方に卓球を教えるための講座だったため、飽きやすい子供にはボールを使った遊びを取り入れて空き時間を有効活用させ、理解が追いつかない子供には他の台でプレーしている友達の姿を見せながら教えるといった指導技術についても学んだ。これは教育現場においても活かすことができることだと考えるため、学んで良かったと考えている。

(2) 環境保全（自然保護・清掃・美化等）系活動

藤前干潟クリーン大作戦!!： 管理栄養学科

目標である“ボランティアの中で、自分の役割や仕事を見つけ、積極的に行動すること”を達成することができた。清掃場所の岩と岩の隙間にも目を向け、屈んでじっくりとごみを探したりと、ボランティア仲間と協力しながら、清掃活動を行うことができた。今回のボランティア活動を通して、普段から私は人に支えられて生きていることをより実感した。1人ではできない作業も周りの人達が助けてくれたおかげで成し遂げることができた。実際に現場に向かってみて、藤前干潟の清掃場所は比較的綺麗になったけれど、その周辺の道路や歩道ではゴミが沢山見つかった。対応策として、清掃活動場所の広域化が必要だと感じた。

(3)文化交流（芸術・スポーツ・通訳等）系活動

あいち国際女性映画祭： 管理栄養学科

SLでのボランティア活動は初めてで、うまく活動ができるか不安でしたが、地域の方々や、同じボランティア参加者の方々とコミュニケーションを取りながら楽しく活動をすることができたので良かったと思います。受付では、来場客の人数をカウントする作業を行いました。午前の部も午後の部も、雨の中非常に多くの方々が来られていたので、あいち国際女性映画祭は、地域の方々や幅広い世代の方々にとっても愛されているイベントなのだと感じました。会場案内の活動を行った際は、上映中に遅れて入って来られた来場客の方を席までご案内する作業が難しかったです。暗い会場の中で、安全かつ他の来場客の方々のご迷惑にならないように、スムーズにご案内しなければならぬので、なかなかうまくはできませんでした。これも1つの良い経験になったと思います。

(4)安全防災（安全対策・防災活動・災害等）系活動

防災人材育成プログラム(赤十字救急法短期講習)： 子どもケア学科・子どもケア専攻

何度か救急法については学んだり体験してきたけれど、細かく説明を受けてからやったり、何度も行うことはできなかつたので、今回濃密に体験ができ、とてもいい経験になりました。救急法を実際現場で行うとなると恐怖心が勝ってなかなかすぐに行動に移せないかもしれません。でも、多くの方が救急法を知っていれば助ける人のサポートが増えるので、積極的に参加し、多くの人に活動の必要さを広める一員になるべきだと感じました。もしものことがあった時に、自分が救えたかもしれないと後悔するのは嫌なので、できる限りのことができるよう今回の学びが活かせると思います。

防災人材育成プログラム(赤十字幼児安全法短期講習)： 子どもケア学科・子どもケア専攻

小児・乳児への一次救命処置は初めてだったので、成人に行うときとの違いを学ぶことを意識しながら講習を受けました。実際に小児・乳児の人形を用いて一次救命処置を行ってみると成人、幼児、乳児では胸骨圧迫や人工呼吸の方法、電極パッドの貼り方が異なることなど新たに多くの知識を得ることができました。日常生活では子どもの思いがけない事故やけがに今回学んだ以外の方法で対応しなければならないときがあると思います。配布された資料をもう一度読んで学んだことを復習したり、疑問に感じたことを自主的に調べてみたりするなどして、応急手当に関する正しい知識と技術を身につけ、いざというときに自信を持って適切な行動ができるようにしたいと思います。

(5)健康支援（食育・献血・健康相談等）系活動

秋のメニューのレンチンレシピ： 管理栄養学科

今回のボランティアではレシピ作成から料理撮影まで長期間に渡るボランティアでした。秋の食材を電子レンジでどのようにおいしく仕上げるか何度も試行錯誤して料理を完成させることができました。電子レンジだけでもおいしく仕上げるができるという新たな発見もありました。普段はフライパンを使うことが多いので電子レンジだけでは難しいかなと思いましたが、やってみると思った以上においしかったので驚きました。外大の方々とも協力し、料理の作り方を撮影しました。分かりやすくできていたらうれしいです。完成した料理を外大の方や先生に食べていただき、「おいしい」と言ってもらい達成感が高くなりました。今回のボランティアで学んだことをこれからのレシピ作成にも生かしていきたいと思います。

(6)地域活動（まちづくり・地域イベント・観光案内等）系活動

こども向けイベントスタッフ募集(日進絆子ども食堂)： 映像メディア学科

SLセンターの募集情報を見た時点では、イベントの司会が楽しそうで、やってみようという気持ちしかありませんでした。しかし、実際どういう目的のイベントなのかを知って、自分も参加できることにとても嬉しく思いました。日進絆子ども食堂の代表である山崎さんとお話する機会があり、このイベントへの思いを聞くことができました。山崎さんは生活に困っている家庭の夏の思い出になってくれたら嬉しいとおっしゃっていました。山崎さんの熱い思いに感銘を受け、今回のイベントが成功するようにがんばりました。私は、日進に元からいるわけではないので、日進がどのような場所かあまり知りませんでした。しかし、今回このイベントに参加したことで、困っている人に手を差し伸べてくれる方々がたくさんいる、とても温かい地域なんだなと思えました。軽い気持ちで参加を決めたイベントで多くのことを学ぶことができ、もっとボランティアと向き合っていきたいと思えました。

日進絆子ども食堂： 管理栄養学科

今回のボランティア活動では、大量調理を経験することができました。合計30合のご飯を2台の大きな炊飯器で炊く。4玉のレタスを手で小さくちぎる。大量の鶏肉を使用し、1つ1つ丁寧に手作業でからあげを作る。今まで経験したことない人数分のお弁当を作りました。すべて手作業で行っていて驚きました。“おいしい”と言われるお弁当作りを地域みなさんと一緒に行うことができ嬉しかったです。お弁当の配置、容器、おかずの種類や量。子ども達に喜んでもらえるように工夫していて、本当に心のこもったお弁当だなと感じました。作業終了後、作ったからあげを試食しました。とてもおいしかったです。スタッフのみなさんもからあげを食べて「おいしかった！手伝ってくれてありがとう」と言ってくださいました。調理を通してス

スタッフの方々と仲良くなれたことで“食”は人を繋ぐことを感じました。また、参加したいと思います。

7. 防災人材育成プログラム

2022年度は防災人材育成プログラムを6回開催しました。

(1) 本プロジェクトについて

平成26(2014)年11月13日に本学は日本赤十字社愛知県支部と連携協力に関する協定書を締結、協定に基づき日本赤十字社が行う救急法・幼児安全法・健康生活支援講習などの各種講習をSLセンターが企画し協働し実施してきました。日進キャンパスで年に1回開催される消防訓練では救急法のデモンストレーションを日本赤十字社愛知県支部に協力要請してきました。

防災活動には災害時に活躍できる「防災人材」の要請が重要課題とされています。そこで、SLセンターでは、2020年度より日本赤十字社愛知県支部と共同して、防災人材の育成を行うSLCプロジェクト「名古屋学芸大学 防災人材育成プログラム」を企画・実施してまいりました。

(2) 概要

日本赤十字社愛知県支部の防災研修事業で実施されてきた研修プログラムを基に日本赤十字社愛知県支部と名古屋学芸大学が共催企画として「防災人材育成プログラム」を企画し、共催しました。

(3) 目的

防災人材の育成

(4) 募集対象者・定員

- ・ 本学の教職員及び学生
- ・ 日進市に在住・在学・在勤の高校生以上の方
- ・ 定員：各講座20名

(5) 開催場所

本学6号館621 栄養教育学・公衆栄養学実習室

(6) 開催計画と実施回数

一講座150分で、前期3回(5月・7月・9月)、後期3回(11月・2月・3月)の全6回を計画・実施しました。(表7-1)

表 7-1 2022 年度 防災人材育成プログラム内容(計画・実施)

日程 会場 回・テーマ	内容	講座の概略
5月28日(土) 9:40~12:50 名古屋学芸大学 1. 災害の全体像を理解し、 災害時の諸状況を前もって 予測する (災害エスノグラフィー: 災害時の追体験)	大規模災害の被災者の経 験を書き留めた読み物を 通して、受講者が災害を追 体験することで被災の具 体的なイメージをする。 2020・2021 年度実施	① 赤十字の防災事業について ② 赤十字防災セミナー 「災害エスノグラフィー」: 読み物による過 去の災害の追体験(災害エスノグラフィーを 読み心に残った箇所を、グループで話し合 う。(個人・グループワーク)) ③ 救護資材等の展示(赤十字が県民からの 社資(寄付)により、日進市に配備している救 護資材等)
7月9日(土) 9:40~12:50 名古屋学芸大学 2. 大規模災害後の様子を 知る (東日本大震災の被災地の 様子と避難袋の中身を考 える)	東日本大震災後の様子か らより具体的に災害後を イメージし、よりよい避難 を考えることが出来るよ うにする。 避難時に持ち出すものを 考える。	① 赤十字防災事業について ② 東日本大震災後の被災地の様子(石原) ③ 避難袋作り(共同作業) ④ 救護資材等の展示(赤十字が県民からの 社資(寄付)により、日進市に配備している救 護資材等)
9月17日(土) 9:40~12:50 名古屋学芸大学 3. 防災意識を高める (DIG: 地図を見ながら災 害をイメージする)	DIG(Disaster Imagination Game) グル ープで話し合いながら災 害時のイメージを地図上 に記載する。 2020・2021 年度実施	① 赤十字防災事業について ② 赤十字防災セミナー DIG: 地域の防災マップの作成を通じて、防災 上の資源や危険箇所の把握・理解し、個人や 地域で予め行うべきことを検討する。(個人・ グループワーク)(名古屋学芸大学周辺・日進 市役所周辺を検討予定地とする) ③ 救護資材等の展示(赤十字が県民からの 社資(寄付)により、日進市に配備している救 護資材等)
11月26日(土) 9:40~12:50 名古屋学芸大学 4. いのちをまもる・つなぐ (救急法短期講習)	傷病者の観察の仕方及び 一次救命処置(心肺蘇生 法、AED を用いた除細 動)・身近なものを使った 応急手当 ※心肺蘇生法は災害時の みならず、日常において も必要な知識技術です。 2021 年度実施	① 赤十字防災事業について ② 赤十字講習会 救急法短期講習: 傷病者 の観察 の仕方及び一次救命処置(心肺蘇生法、AED を用いた除細動)・身近なものを使った応 急手当 ③ 救護資材等の展示(赤十字が県民からの 社資(寄付)により、日進市に配備している救 護資材等)
2月18日(土) 9:40~12:50 名古屋学芸大学 5. 子どものいのちをまも る・つなぐ (幼児安全法短期講習)	小児・乳児の心肺蘇生と AED の使い方、身近なも のを使った応急手当 ※心肺蘇生法は災害時の みならず、日常において も必要な知識技術です。	① 赤十字防災事業について ② 赤十字幼児安全法講習: 小児・乳児の心 肺蘇生と AED の使い方、身近なものを使っ た応急手当 ③ 救護資材等の展示(赤十字が県民からの 社資(寄付)により、日進市に配備している救 護資材等)
3月11日(日) 9:40~12:50 名古屋学芸大学 6. 避難所における支援を 身に付ける (災害時高齢者支援講習短 期講習)	災害時高齢者支援講習短 期講習: 避難所における 高齢者支援 ※災害時だけではなく、高 齢者への接し方を学びま す。	① 赤十字防災事業について ② 赤十字講習会 災害時高齢者支援講習 短期講習: 避難所における高齢者支援 ③ 救護資材等の展示(赤十字が県民からの 社資(寄付)により、日進市に配備している救 護資材等)

※救急法については、学内の受講希望が多く、教室の広さ・換気・消毒の徹底を選定に、日本赤十字社愛知県支部と協議の上、26名での開催とした。

(7) 参加者

2022 年度は、コロナ禍であっても感染対策が進んだことにより、計画した 6 回を実施することが出来ました。全回参加した学生 1 名に皆勤賞を授与しました。各回の参加者の属性と人数を表 7-2 に示します。

表 7-2 2022 年度防災人材育成プログラム参加者の属性と参加者数(人)

回	テーマ	学生	教職員	一般	計
1	災害エスノグラフィー	2	0	5	7
2	大規模災害後の様子を知る	1	0	14	15
3	DIG	2	0	8	10
4	救急法短期講習	12	0	14	26
5	幼児安全法短期講習	7	0	12	19
6	災害時高齢者支援講習短期講習	4	0	11	15
	計	28	0	64	92

(含 見学者)

8. スキルアップ講座等

2020 年度は感染対策で遠隔授業が多く行われました。各ボランティア先においても、感染対策を講じることが最優先となり、対面で行うボランティア活動は大きく減少しました。その一方で、社会全体としてオンラインでの学習機会が増し、東日本大震災から 10 年の節目を迎えようとしていたこともあり、スキルアップのための講座や、震災から学ぶオンライン講座が開催されました。

本学では、対面ボランティアを実施できない期間にも学生のボランティア参加の機会となるオンライン講座などを HP を通じ紹介できるようにしました。

2021 年度まで多くのオンライン講座を紹介してまいりましたが、感染対策が進むにつれ、対面と並行で行うなど変化が見られました。2022 年度はオンラインで開講する要請も少なくなり、その役目を終えました。

9. 復興支援活動

(1) みなみそうま SL

みなみそうま SL 活動は、学べる被災地での地域コミュニティづくり活動につづく復興支援活動として 2020 年度に実践するため、2019 年度 2 月に現地視察を行いました。その後新型コロナウイルス感染症拡大により、2020～2021 年度は活動が叶いませんでしたが、2022 年度は現地での活動を行うことが出来ました。

表 9-1 みなみそうま SL 活動概要

<p>2022 年度みなみそうま SL</p> <p>みなみそうま SL 概要</p> <p>食と環境を考えるプロジェクト みなみそうまの海から学ぶ～食と環境を考えるプロジェクト 企画の目標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食、育み、創造の三本柱を生かした連携の学修機会を得る ・地域課題解決を通して、専門領域の学びを生かした人間教育を行う ・ローカルエコノミー、シビックプライドなどコミュニティデザインの概念を実習する ・東北復興の最後の課題である原発事故の被害について学ぶ ・南相馬の農／水産品について学び、食の生産現場を体験する ・風評被害の根絶に向けた情報を発信する ・消費の作法、楽しみの提案、世代間の連携など、食に関する新しい社会価値を創造する ・地域のありようを考える機会を住民に提供する <p>新たに水産資源も課題に加えました 学内では対面で、南相馬市役所とはZoomでつないで、対面とオンラインを併用して交流しました。</p>
<p>みなみそうま SL 活動報告</p> <p>○説明会(Zoom・録画視聴) 2022 年 7 月 11 日(5 限) コーディネーター：塚原丘美先生</p> <p>○参加者 19 名 映像メディア学科 1 名 管理栄養学科 18 名(2021 年度みなみそうま SL 参加者 2 名を含む)</p> <p>○ミーティング日程／参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回 2022 年 9 月 12 日(月) / 学生・教員 2021 年度みなみそうま SL 報告会 ・第 2 回 2022 年 9 月 30 日(金) / 学生・教員 昨年度の活動概要・活動先の説明、班分け(5 班)、今後やってみたい活動内容について協議し、グループ報告・共有 ・第 3 回 2022 年 10 月 14 日(金) / 学生・教員 グループごと(5 班編成)の企画案の発表・共有と実施可能な企画の再考 ・第 4 回 2022 年 10 月 27 日(木) / 学生・教員 グループ・個人の課題(個人のやってみたい・企画を練るにあたって知りたいこと、南相馬市様への質問にまとめ) 発表・共有 / 3 つのグループに班を再編成

- 第5回 2022年11月10日(木) / 南相馬市役所イノベ政策課様・学生・教員
3回のミーティングを経た企画案の発表と共有、南相馬市役所担当者からのアドバイス
- 第6回 2022年11月25日(金) / 学生・教員
南相馬市様からのアドバイスを受けて実施可能な企画を練り、発表する
実施に向けて、学生間で共有し、可能な方法をグループ内・教員へ質問・共有する
- 第7回 2022年12月8日(木) / 学生・教員
企画内容のブラッシュアップ・スリム化による共同企画案の検討
- 第8回 2022年12月23日(金) / 南相馬市役所イノベ政策課様・学生・教員
全体・グループ別企画案発表とアドバイスを受ける
- 第9回 2023年1月20日(金) / 学生・教員 (学生集会)
7回のアドバイスを得て、企画内容変更。実施内容詳細検討
- 第10回 2023年1月27日(金) / 学生・教員
メニュー開発のための食品試作と試食と感想の共有／実施準備説明(しおり・交通費・持ち物等)
- 第11回 2023年1月31日(火)
南相馬市産の食材を使つての試作・試食と感想の共有／実施準備説明(実施場所の施設・設備と実施上の注意点の説明)
- 第12回 2023年2月16日(木) / 学生・教員
目的・計画の再確認、調理試作、参加者募集について、協議した。必要物品を整理と当日の学生の動きを共有
- 第13回 2023年2月20日(月) / 学生・教員
現地参加者 学生19名・教員2名 イベント最終チェック、必要資材の梱包・送付

○活動計画

にしんわいわいフェスティバル (2023年7月1日)で活動発表

ぼうさいこくたい2023KANAGAWA (2023年9月17日・18日)で活動発表

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学合同祭にパネル出展と物産展(2023年10月28日・29日)

(2)復興支援活動報告会

SLセンターでは、東北支援活動に参加した学生の学内外での報告会をサポートしています。2021年みなみそうまSLに参加した学生が、内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議が主催する「ぼうさいこくたい2022 in 神戸」等に参加しました(P.32表9-2)。

表 9-2 報告会実績

日時	内容	場所	対象	その他
2022年 7月2日(土)	にっしんわい わいフェステ イバル パネル展示	日進市市民会 館	日進市民・一般	みなみそうま SL2021 参加学 生
9月12日(月)	みなみそうま SL参加報告会 パネル・PPを用 いて報告	名古屋学芸大 学124教室	みなみそうま SL2022参加者	みなみそうま SL2021参加学 生
10月22日 (土)・23日 (日)	ぼうさいこく たい2022in神 戸	兵庫県神戸市 HAT神戸周辺	ぼうさいこく たい2022参加 者・一般	みなみそうま SL2021参加学 生

10. 資料

(1)活動写真

①防災人材育成プログラム	
 <p>災害エスノグラフィー</p>	 <p>大規模災害後の様子を知る</p>
 <p>DIG</p>	 <p>赤十字救急法短期講習</p>



赤十字幼児安全法短期講習



災害時高齢者支援講習短期講習(赤十字)

②ぼうさいこくたい 2022in 神戸



学生団体ブースでの本校学生による報告



内閣府星野副大臣の訪問

③みなみそうま SL2022



現地イベントの準備



開発したレシピの調理



東日本大震災メモリアルパークや震災遺構の見学





2022年度 みなみそうま SL

食と環境を考えるプロジェクト

南相馬の海から学ぶ～食と環境を考えるプロジェクト

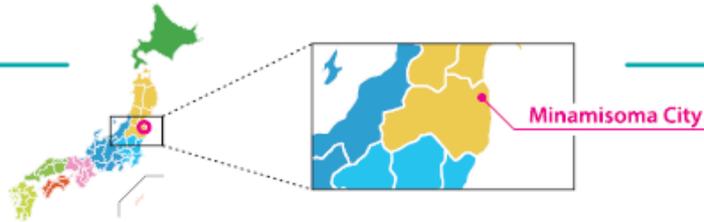
管理栄養学部 管理栄養学科 2年/安藤凛香 伊藤咲良 井上芽生 近藤祐菜 後藤あずさ 高須光里 豊田唯菜 土田菜央 守田紗彩
管理栄養学部 管理栄養学科 1年/瀧美風太 石原千津子 石原夕暉 市川 真典 宇都宮華乃 清水奈美 永田恵望 松原綾香 山田楓真 渡辺涼羽
メディア造形学部 映像メディア学科 1年/河村美結

1 企画の目標

- 食、育み、創造の三本柱を生かした連携の学修機会を得る
 - 地域課題解決を通して、専門領域の学びを生かした人間教育を行う
 - ローカルエコノミー、シビックプライドなどコミュニティデザインの概念を実習する
- ・東北復興の最後の課題である原発事故の被害について学ぶ ・南相馬の農/水産品について学び、食の生産現場を体験する
 - ・消費の作法、楽しみの提案、世代間の連携など、食に関する新しい社会価値を創造する
 - ・風評被害の根絶に向けた情報を発信する ・地域のありようを考える機会を住民に提供する

2 活動地域

福島県南相馬市



3 活動日程

2月24日(金)

- 14時00分 JR常磐線 原ノ町駅 集合
- 14時30分 道の駅南相馬下見
- 16時30分 南相馬市消防・防災センター(※1)見学
- 17時40分 JR常磐線 鹿島駅
農家民宿の方々とお話し
分宿(かざぐるま・楽楽・翠の里・島のよるさと・翠の里)

2月25日(土)

- 08時30分 JR常磐線 鹿島駅 出発
- 09時00分 道の駅南相馬イベント準備(ホール/調理室)
レンタサイクル利用者 南相馬観光協会
- 14時00分 ①ホールイベント
お野菜かるた / 上手におつかいできるかな
南相馬の海をみんなで描こう 他
- ②調理イベント
わくわくお菓子作り
大人:ほうじ茶香るあんぱん和風ケーキ
子ども:のたまんチョコエッグ)
- 16時30分 イベント片付け
- 18時30分 各農家民宿へ

2月26日(日)

- 08時30分 道の駅南相馬 集合
- 09時00分 イベント準備(ホール/調理室)
- 10時00分 ①ホールイベント
お野菜かるた / 上手におつかいできるかな
南相馬の海をみんなで描こう 他
- ②調理イベント 大人のクッキングタイム
相馬田舎味噌 × 八丁味噌の味噌玉
菊いもきんぴらの味噌入りおにぎり
ほうれん草とベーコンのバター醤油おにぎり

2月27日(月)

- 07時40分 JR常磐線 鹿島駅
- 08時45分 JR常磐線 双葉駅 伝承館行きシャトルバス乗車
- 09時00分 東日本大震災・原子力災害伝承館(※3)見学
- 11時00分 解散・帰省
希望者:震災遺構 浪江町立浪江小学校(※4)見学



※1 南相馬市消防・防災センター/エントランスは南相馬を模した独特なデザインの消防業務防災見学施設。施設中央には津波の高さを表す大きな柱がそびえ立っており、震災の記録や災害の対処法などの様々な情報が表示されている施設。

※2 南相馬市メモリアルパーク/震災で大きな被害を受けた北東部消防組合公団に「備忘及び避難の場として跡を留めることができる高台」が整備された。

※3 東日本大震災・原子力災害伝承館/震災当時の映像や状況が分かる資料、実際に津波で流された物、震災の仕組み等が展示されている施設。震災後の影響状況や、津波の危険性などを学ぶことができる。

※4 震災遺構 浪江小学校/浪江小学校は、2011年の東日本大震災により大きな被害を受けたにも関わらず、全員が無事避難することができた奇跡の学校として知られるところである。福島県浪江町に位置する浪江小学校であるが、津波による被害の大きさや生徒全員が避難できた経緯を伝えるために、施設を素のままの姿で残し、2013年から一般公開を行っている。中に入ってみると、津波により壁が崩れていたりと、ドアが折れ曲がっていたりと被害の大きさを自分の目で見るだけでなく、当時のこの小学校に通っていた人たちの実際のメッセージなども読むことができる。

参考:【公式】震災遺構・浪江町立浪江小学校 <https://mamie-ukedo.com/> 閲覧 2023.4.13

4 イベント内容

> イベント/ゲームコーナー

- お野菜かるた/旬の時期や野菜の特徴を調み上げてかるたを取ってもらう。
- 花と野菜の神経衰弱/その野菜の花と果実をセットで神経衰弱のように取ってもらう。
- 上手にお使いできるかな/お使いメモを渡して、お使いメモに書いてある野菜をつってもらう。同時にその野菜の共通点を考えてもらう。
- 南相馬の海をみんなで描こう/南相馬でとれる魚を色塗りしてもらったり、白紙の紙を用意しておいて自由な発想で魚を描いてもらったりする。描いた魚をボードに貼り付けることで南相馬の海を自分たちで作る。



> 資料展示

- 紹介ボード(パネル展示)/名古屋学芸大学の紹介/みなみそうま SL2021 の活動紹介
- 絵本・魚図鑑 ●実寸大の魚図鑑の展示

> 参加者数

●2月25日(土)

- ・ホールイベント 25人
- ・調理室イベント

「わくわくお菓子づくり」

申込数 大人8人、子ども12人
受付数 大人6人、子ども8人
参加者数 大人6人、子ども8人

●2月26日(日)

- ・ホールイベント 43名
- ・調理室イベント

「大人のクッキングタイム」

申込数 5名
受付数 14名
参加者数 14名



●当日準備/

イベント資材の購入・装飾や整理券作成
施設内清掃・コーナー設置・受付

5 グループ活動①/みなみそうまの沼にハマってみた

11月10日 各班でやりたいことの見出し Instagram と TikTok のアカウント作成/投稿内容及び系統の検討

11月25日 班ごとの企画発表

【南相馬3分クッキング】

南相馬産の野菜を小高マルシェで購入→その野菜を使って料理を作る→その料理の作り方を SNS に投稿

【南相馬発掘ツアー】

南相馬の街中を自転車で巡り、カフェや観光スポットも寄る。→巡回の様子や、カフェ・観光スポットを SNS に投稿

【movie 作成】

これまでの活動の様子を撮影し、その動画を編集し、イベントで上映

12月21日 小高マルシェの野菜ボックス試作①

野菜	紅白ネギ	ほうれん草・水菜	ロマネスコ	春菊	しいたけ・紅くるり大根・水菜
メニュー	紅白ネギのおひたし	無限サラダ	ロマネスコツリー(ポテトサラダ)	韓国風キムチチヂミ	大根スープ
感想	ネギが肉厚でタレとよく絡んで、美味しかった。	食べている手が止まらない。	かわいさ100点、味100点。作っていて楽しい、ボリュームも満点。パーティーに最適。	韓国料理が好きなお人におすすめ。もちもちで美味しい、幸せいっぱい楽しめる一品。	送られてきた野菜でコンソメスープを作成。紅くるり大根の赤味がスープに溶け出て、色鮮やかなスープで、とても優しい味。

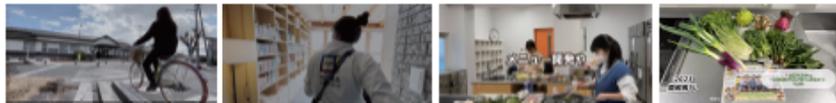
1月27日 企画会議、動画、インスタ投稿作成 / 【南相馬発掘ツアー!】の道具類を持参して、発表。【movie 作成】も同時に取り掛かった。

2月16日 小高マルシェの野菜ボックス試作②

野菜	白菜	ジャガイモ	春菊	チンゲンサイ	大根・里芋・白菜・紅白ネギ	ジャガイモ他
メニュー	無限ツナ白菜	ジャガイモとベーコンのクリーム煮	春菊とベーコンのニンニク炒め	チンゲンサイと厚揚げの煮浸し	豚汁	肉巻き
感想	白菜の甘みがあって食べやすくて美味しかった。	ジャガイモに甘みがありクリームとマッチして美味しかった。	短時間でできる料理。ニンニクの風味を効かせ、調味料を減らした。野菜料理。	とにかく優しい味。やっぱり葉物野菜は煮るのが一番美味しい気がする。	ボックスの野菜を多く使用。具沢山で食べ応え抜群。相馬田舎味噌の味も優しくとても美味しかった。	色々な野菜を細切りにし、肉で巻いた。野菜ボックスの野菜が色々味わえた。

2月20日 インスタ投稿作成

movie 作成



5 グループ活動②/ちいむ🍎はらべこ

①乾燥野菜試作

南相馬市から取り寄せた野菜を用い乾燥野菜を味噌玉に入れようと試みたが、インスタントのみそ汁のようにお湯で戻せることが出来ず、乾燥野菜作りは断念した。



②米粉を使用したパウンドケーキの試作

南相馬産の「天のつぶ」を取り寄せ、400メッシュの米粉に挽いた。この米粉とドライフルーツ・かぼちゃパウダー（南相馬産）とかぼちゃを用いてパウンドケーキを試作したが、現地調理室でオーブンの使用ができないこと、オリジナルなレシピができずに試作を終了することとした。



③福島ももの恵み（桃ジュース）を使用したデザート試作

果汁100%の「福島ももの恵み」と牛乳の二層寒天ゼリーを試作した。桃ジュースは甘みがあり、桃の果肉のきれいな色をしているため、二層にすることにした。寒天を二層にするには調理に時間がかかり、一層を牛乳寒天とした。桃と牛乳の相性は良くなく、寒天が多かったため硬くなってしまった。



④八丁味噌 × 相馬田舎味噌（愛知県と南相馬市のコラボ）味噌玉の試作

愛知県の八丁味噌と南相馬市の相馬田舎味噌のコラボレーションの味噌玉を企画し試作した。最初は、1:1でブレンドするも若松味噌醤油店の相馬田舎味噌の良さが感じられなかった。

味噌のブレンドのおいしい割合を見つけるため、みなみそうま SL ミーティング参加者が試食し、一番美味しい比率を決めた。また、出汁は、南相馬市の黒潮海苔店から鰯の煮干しと片口鰯の煮干しを取り寄せ、とろろ昆布を加えて、粉末にした。具材は、南相馬市産の野菜を取り寄せ、にんじん・ほうれん草（下ごしらえとして茹でた）を具材とし、レシピを完成させた。

⑤福島県産あんぱ柿のパウンドケーキの試作

福島県産あんぱ柿を生かしたパウンドケーキを作りたい考え試作をした。そのまま食べてもおいしいあんぱ柿と南相馬市でよく飲まれているほうじ茶を使うことで意外性のある新しいケーキを作ることができた。

イベント先の調理室には、オーブンがないことから小さいフライパンで作れるように工夫した。また、ほうじ茶の茶葉をそのまま使用したため、茶葉をダイレクトに感じた。口当たりを良くするため、すりつぶす改良を加えた。

⑥当日の調理企画のシミュレーション

試作し、完成したレシピから、今回の企画では「あんぱ柿のパウンドケーキ」「八丁味噌 × 相馬田舎味噌の味噌玉」を調理することとした。参加者へのアドバイスが調理メンバー全員ができるようにシミュレーションを行った。あんぱ柿のパウンドケーキは焦げやすいこと、八丁味噌 × 相馬田舎味噌の味噌玉は二種類の味噌をよく混ぜてから成形するように申し合わせた。



5 グループ活動②/ 食いしん坊企画課

① 菊いもきんぴらの味噌入りおにぎり試作

菊いもの食感を残すため、細かくしすぎないように工夫しました。また、おにぎりの中に入れる味噌ダレの調味には苦労しました。初めはめんつゆと相馬田舎味噌、みりん調味しましたが、相馬田舎味噌のほどよい甘さがめんつゆで消されてしまうため、相馬田舎味噌とみりんのみを最適な比率になるよう試作を重ねました。そうして完成した味噌ダレはおにぎりの表面に塗って焼いた方が香ばしい風味も出て美味しいのではないかと考え試作しましたが、中に入っている方が味が変化し飽きずに最後まで美味しく食べることが出来ました。



② ほうれん草とベーコンのバター醤油おにぎり試作

南相馬市の小高ハムの厚切りベーコンを使用し試作しました。小高ハムのベーコンは厚みがあり食べ応えがあります。しかし、にぎってから時間が経つとベーコンの油がおにぎりから出てしまいベタベタになりました。そのため、炒めたベーコンをキッチンペーパーで油を取り除くという工程を入れ、おにぎりがベタベタすることは改善できました。



③ チョコエッグ試作

まず紙粘土で南相馬市のキャラクターである「のまたん」の頭部模型を作り、それを石膏でコーティングし、型取りし、食品用シリコンでチョコエッグの型を作成しました。実際にチョコレートを入れて試作をするとシリコン型が硬くて、型から外す工程でチョコレートにひびが入り、耳が割れてしまいました。そのためシリコン型を柔らかくし、耳は頭部とは別の型を作り、頭部と耳のチョコレートは、型から外した後に取り付けるように工夫しました。



④ その他の試作

その他にも南相馬市から取り寄せた野菜や食品を使って、ロマネスコと菊いものポトフ、かぼちゃの鬼まんじゅう、にんじんの米粉(天のつぶ)パンケーキを試作し、レシピを作成しました。



① 菊いもきんぴらの味噌入りおにぎり・ほうれん草とベーコンのバター醤油おにぎり・相馬田舎味噌 × 八丁味噌の味噌玉

地元の方に地元のお野菜の美味しい食べ方などのアドバイスやお話を伺うことも目的としたため、ご参加いただく対象者を大人に限定し、農家民宿をされている方をはじめとする地元の参加者の皆様と一緒に作りました。菊いもの調理方法についてアドバイスをいただいた他、参加された皆さんの包丁さばきも見事でとても勉強になりました。

また、喫食時には味つけや味噌玉の活用方法について話し合い、「お湯を注ぐだけで出来たてのお味噌汁が飲め体も温まりそうだ」「毎食調理するのは大変であるが作り置きできるのは便利」「おにぎりには肉や野菜が入っているためおかずなしで満足できる」等のご意見をいただきました。



② チョコエッグ

チョコエッグは子どもたちと交流するため、愛知県特産のお菓子をチョコレート型の中に入れる材料に選び、愛知県と南相馬市をコラボさせました。子どもたちには身近な「のまたん」を自分自身の手で作ることができると、喜んでもらうことができました。

割れずにチョコレート成型から外すには、チョコレートを型の方まで綺麗に入れる必要があり、子どもたちの真剣な顔で取り組む様子も見られました。チョコレートを割らずに型から外れた瞬間の皆の笑顔がとても印象的でした。子どもたちはどんなお菓子を中に入れたら美味しいか綺麗かなど考えながら、愛知から持ってきたお菓子を楽しそうに選んでいました。

完成したチョコエッグを割る瞬間は、それぞれのお母さんの前で割ることとし、割れたチョコレートからお菓子がこぼれ落ちる瞬間は、お母さんにも子どもたちにも嬉しい瞬間になりました。



6 SNSでの発信 (Instagram)



7 参加者の声 (感想)

みなみそうまの沼にハマってみた

22211013 石原千津子

南相馬へ行った4日間、南相馬の人々の温かさに触れ、貴重な経験をする事が出来ました。

震災当時、テレビで見ていた被害の数々。復興が進み、被害を受けた場所はほぼ完全に修復されていると思っていました。しかし、現実には甘くありません。自分が思っていた以上に震災の被害は大きいものであり、想像を絶する規模だということが分かりました。また、電車が開通されてまだ日が浅いことを聞き、まだまだ復興途中である現状を知りました。自然災害の恐ろしさを身に染みて感じました。

地元の方々は、温かく私たちを迎え入れてくださいました。訪れた随所で南相馬の方々の温かさに触れ、南相馬の魅力が発見することが出来ました。今回の活動でお世話になった農家民宿の方々は、震災直後の様子や伝統など南相馬について私たちに話してくださいました。現地の方だからこそ聞ける話ばかりでした。

私たちの班が行った南相馬探索では、事前調べでは分からなかったことが現地を訪れたことで発見できました。満足度満点の親子丼がおすすめの地元の方々に愛されている定食屋「歩々」。オシャレトロな雰囲気の中、美味しいケーキを食べることができるカフェ「いこい」。他にも南相馬ならではの魅力的なお店を数多く発見しました。日曜日が定休日のお店が多く、行きたかったところを制覇することが出来なかったものの、美味しい南相馬グルメを堪能することができて、大満足な探索となりました。

これからの活動でこれらの魅力的な南相馬グルメやスポットをより多くの方々に伝えていき、「南相馬の今」を発信していけるように精進します。



22211082 清水奈美

みなみそうま SL に参加して学んだことは2つあります。まずは、活動に関して、グループ間での情報共有の大切さを学びました。本イベントは本学の学生のみならず、南相馬市の様々な方々が関わっています。故に、決定事項はすぐに報告し、物事がスムーズに進むようにしなければなりません。しかし、それが個人あるいはグループだけに留まり、情報が回らないということがよくありました。よって物事がうまく進まなかったり、詳しい情報を知らないまま事が進んでいたりすることがありました。学内でこのような出来事が起こるのはまだしも南相馬市さんにも迷惑をかけてしまいました。ここから、多くの方のご協力をいただいている際は、小さなことでも逐一伝えて運営していく必要があることを学びました。

次に震災に関して。震災が起きてから12年経った今だからこそ、震災の危険性を再啓発していくべきであることを学びました。今まで、私は震災をメディアを通してでしか見たことがなく、実感がなかったため、自分とはそれほど関係のない1つの物事と捉えていました。しかし、実際現地の方から、お話を伺うと、その危険性が身近に感じられました。また、当時の不安感なども伝わってきました。震災直後は、連う地域の人も恐怖に驅られ、震災対策をするかもしれません。しかし、12年も経つとだんだんとその対策を怠ってきかねません。だからこそ、再度危険性を啓発し、次震災がいつ来ても被害を最小限に抑えられるような対策をしていくべきだと学びました。

7 参加者の声(感想)

2221036 河村美結

たった一度訪れただけでも大きな影響力を私自身に与えてくれた経験があるからこそ、多くの人に同じ体験をしてもらいたいと感じたことが、みなみそうま SL 参加きっかけだ。

自分の目で確認したからこそ、何かこの思いを行動に繋げたいといった気持ちの大きな後押しとなった。実際に 3 泊 4 日は、人生ではじめて体験することが多い日々となった。イベントなど一人で活動や福島に訪れた場合だとできないことも多くできた。そして多くのものを自分自身が受け取った。いつもの日常では味わえない、異なる土地や人々を感じ取ることができる貴重な経験だった。

自宅に帰り、経験・思い出に浸っていると、いつもは見ないニュースから南相馬市小高区の単語が聞こえてきた。その内容は「住民ゼロの町に移住する若者」をテーマに取り上げられた番組だった。被災地で起業をする若者が増えているという内容である。やりたいことを叶える場所として、一度ゼロを経験した街を何かを生み出す場所として扱う取り組みが進んでいるのだ。胸が高鳴った。ゼロから生み出したい人々の代表でもある起業家たちが集うことができるフィールドが南相馬に存在しているのだ。とても魅力的で私たちの考え方や活動と、とても繋がりを感じた瞬間だった。

こうして実際の 4 日間の経験はもちろんのこと、ニュースの出来事例のように、明らかに自分の中のアンテナが広がったと身に染みて感じる。自分の糧となる良い経験をさせてもらった。

2221117 永田憲望

私は今回みなみそうま SL に参加して、大震災の悲惨さと今の現実を身を持って体感しました。津波や原発、地震の影響で多くの人の命が奪われてしまった事実が、自分の中で初めて本当に現実世界で起こったことなんだと腑に落ちた気がしました。その中で自分がニュースで見ている時より遙かに悲惨だったということを目の当たりにしました。地震が起きた当時の先が見えない不安な生活、復興支援がはじまり出した当時の気持ち、実際に現地に足を運んで、お話を聞かせていただいたからこそ知ることはできなかったのではないかなと思いました。



初めて南相馬市を見た時大震災から 12 年経った今の街の姿は、大震災が起きて荒地になっていたとはあまりに想像ができないくらい綺麗な街になっていました。当時この街の姿を見た私はほっとした感情になりましたが、それは反対に地元の人々の心の中には、ずっと当時の想いが残り続けているということを知りました。東日本大震災・原子力災害伝承館で話を聞かせていただいた時に聞いた「どれだけ街が復興して綺麗になっても、もう二度と元に戻ることはできない。」という言葉は聞いた時からずっと忘れられない言葉です。

少しでも役に立てたら、誰かの何かのきっかけになればという思いで始めた SNS 活動を通して、考えてもいないほど沢山の現地の方の温かさに触れることができました。気づいた時には私たちが沢山の言葉や優しさを頂いていました。すごく貴重な良い経験になりました。

ちいむ❤はらべこ

2221017 市川真美

行く前までは様々な不安が募っていたけれど、とても楽しくて学びもたくさんあって、あっという間な 4 日間でした。

東日本大震災が起きた当時は小学 1 年生で、テレビの画面越しの光景はあまりに現実味がなく、どこか別の世界での出来事のように感じていました。中学生高校生になり、YouTube などで津波の映像や当時のニュース、まとめ動画などを自分から見られるようになって知識はついても実感は伴っていませんでした。現地に足を運んで、東日本大震災・原子力災害伝承館や震災遺構となった請戸小学校へ行って、当時の写真や今も残る津波の爪痕を目の当たりにして初めて、やっと少しは分かったような気がします。震災があってから福島含め東北のことは「被災地」「特別な場所」といったふうに見てしまっている自分がいました。けれど、震災前の暮らしの様子や写真を見たり、小学校に残ったロッカーの名札を見たりすると、ここにも当たり前の日常があって、沢山の人が住んでいて、それを津波は奪っていったんだということがずっとと理解できました。人がいた、人が生きていた証を見つけるたびに「特別な場所」ではなくどこにでもあるはずの、当たり前の、あたたかい場所だったんだと思いました。ようやく、現実味が湧いたのだと思います。

みなみそうま SL に参加してよかったです。今度は、知ったこと感じたことを伝えて行って自分自身の防災の意識も高めていきたいです。東日本大震災はまだ過去のことにするには早いと思いますが、12 年前に起きた自然災害を、人災を教訓にして、これからの未来を生きていかないとはいけなと思いました。

2221031 宇都宮華乃

4 日間、本当にあっという間で学びの多い、とても充実した日々でした。

農家民宿では、民宿の方と沢山交流することができ、ちいむ❤はらべこの習もとても仲良くなることができました。民宿のトモコさんが作るお料理はどれも絶品で、お米がすすすんで、毎食お茶碗二杯はおかわりしていたほどでした。一晩寝たら、すぐに実家のような安心感が芽生え、農家民宿ならではの学びが沢山ありました。道の駅で行った企画 1 日目は、本番直前に料理教室の人数の変更がわかり、情報の共有不足などで組織の難しさを感じつつ、臨機応変に対応することができました。その中でも、お客さんとの交流を積極的に行い、自分から話しかけに行ったことで、写真を撮り合うまでの仲になり、「また、お会いしたいわ!」「またこのようなイベントに参加したい!!」と嬉しそうに話してくださいました。企画 2 日目は、ホールを担当し、子どもたちと一緒に楽しめる「野菜かるた」で遊びつつ、朝御さんに南相馬市についてや震災などのお話をお聞きし、机上の学びでは得られない学びや気づきを得ました。

震災遺構の請戸小学校や東日本大震災・原子力災害伝承館、南相馬市メモリアルパークを訪れて、本当に沢山の想いが胸の中を駆け巡りました。今回の「みなみそうま SL」の活動で、楽しかった思い出とようやく向き合えた現実、両方をしっかりと持ち帰って、報告会や発表会で自分が見てきたものを伝えていきたいと思っています。

7 参加者の声 (感想)



2221173 渡辺涼羽

今回のSLでは、南相馬市のために“自分たちにできること”を考え事前学習や現地でのイベントを行った。まず、東日本大震災について振り返ることができた。私たちが日常生活を送る中で日常生活が一変してしまった方がいた。事前学習では数字やデータで表された被害しか学ぶことができなかったが、今回現地に行くことで実際の生活はどんな状況だったのか、心境はどうだったのかを聞くことができた。その中で当時の私たちと同じ年頃の子たちは外で遊ぶこともできなかったというお話も聞き、胸が苦しくなった。また、そんな震災を教訓として今私たちは何かできているのか、を振り返る機会にもなった。近年は東海地方では大きな津波等がなく、危機感が薄れてしまっているのではないかと感じた。

次に南相馬市について調べてみると伝統ある歴史、とても美味しい特産品のある市だということが発見できた。これは被災地ということとは関係なく沢山の人が知ってもらいたいと思うものばかりだった。重要無形民俗文化財となっている相馬野馬追は今回画面で見ることができなかったが、地元の人も人生で一度は見たほうが良いと絶賛の迫力を体感してみたいと思った。

最後に私が南相馬市に行って一番感じたことは、人のよさや繋がりにある。地域の農家さん同士で味噌を作ったり夕食の材料を分け合ったりしており、繋がりの深さが感じられた。震災や南相馬市の魅力を私たちの活動を通じて今後も伝えていきたい。

2121162 守田紗彩

南相馬市の農家民宿のともこさん家族、南相馬市役所の方々、私たちが企画したイベントに参加して下さった方々、震災関連の場所に訪れた際に案内して下さった方々、多くの出会いがありました。そんなこの活動を通して出会った全ての人たちが、実際に風評被害をしている人たちに含まれるような他県に住む私たちに快くあたたかく受け入れてくださいました。実際に失ったものだけでなく、心の傷も深いはずなのに、当時や今の状況や心境を話してくださいました。そのことには、何よりありがたく思いました。それらがよりいっそう普段感じることはない『あたりまえ』のありがたみを感じることができた理由だと思っています。そのあたりまえが瞬間で失われた人々だからこそ言葉の重みや苦しみが伝わってきて、感謝をするようにしたいと改めて強く思いました。

事前活動も実際に現地に行って見て聞いてみると、特産だと思っていたものが初めて食べると言われて驚いたり、3/11 じゃないと東日本大震災のことを思い出してもらえないのが悲しいと言われてメディアの影響の強さや風化について考えさせられたりもしました。それらは現地に行かないとわからないことであり、知らなかった声だったと思います。現地に、福島県に、南相馬市にいかなければ、わからなかったことも多く、今以上に心を動かされることもなかったように思うので、本当に行って良かったと心の底から感じています。

この充実した4日間は、2度とない貴重な体験や経験ができて、あたたかい人や気持ちや繋がりに触れ、感じるような出会いがありました。「また来たい。」と強く思う程、とても大好きな場所にもなりました。だからこそ、その良さやこの活動を通して学んだことをなんらかの形でより多くの人に伝えていきたいと思えます。



21211068 後藤あずさ

どこか遠くに感じていた震災・原子力災害・復興について学び、南相馬市の人に市の良さを再確認してほしい思いで、レシピ作成に至りました。南相馬市は野菜・米が豊富で、素材を感じるため、開封後そのままを試食しました。私達は取り寄せた南相馬市産の食材を用いたオリジナルレシピを完成させました。現地に着くと、空気が綺麗でおいしいことにメンバーと共感しました。道の駅では障のよつわりパンやアイスまんじゅうがあり、お土産をどうするか楽しみでした。農家民宿では毎食豪華な食事をご馳走していただき、美味しいことを伝えると照れたように「そう？ 変わってるね」と何度もおっしゃっていました。ちらし寿司やカニもグループ全員で堪能、堪能した四日間でした。防災センターでは避難生活の過酷さと津波の恐ろしさ、伝承館と調戸小学校では原発について学び、社会の影響の怖さを感じ、震災の現実を12年経って初めて肌で感じました。メモリアルパークでは、原子力発電所周辺を楽しめる公園に整備され、身近な存在として残されていました。みなみそうま SLを通して多くの経験をする事ができました。地元の方によると、あんぱんをよく食べる訳ではなく、「イベントを機に食べてみようと思う」とおっしゃっていました。また、普段仕事で忙しいお母さんが「子どもとの楽しい時間を過ごせてよかった」といってください、心が温まりました。喜んでいただけるように準備することがこんなに嬉しいんだと実感しました。南相馬市の方にも市の良さを再確認し、私達も良さを体感することができる時間でした。垣根を超えたイベント作りは仲間とコミュニケーションを重ね、良い関係を築くことができました。

7 参加者の声(感想)



22211148 松原綾音

みなみそうま SL に参加して本当に貴重な経験させていただきました。

私は今までに東北を訪れたことがなかったので町がどう変わってしまったかを知るわけではありませんが、何か大きなものを失ったような、少し寂しい感じがしました。復興するのは良い事だけど、今まで慣れ親しんでいた場所とは全く違う新しい家が建ち、町ができるのは複雑で素直に喜べない、という話を聞いてハッとしました。被災地に行くまでは「復興」と聞くと良かった、と単純に思う自分がいたけど、一度失ったものが元に戻ることはないのだと改めて気づいて、もし自分の故郷が同じようになったらと想像すると胸が詰まる思いがしました。当時はテレビで津波の映像を見て、起こっている事が理解できず信じられなかったけど、実際に南相馬で海を見たり震災遺構となった諫戸小学校を訪れたりお話を聞いたりして、やっと現実として受け止められた気がしました。普段はあんなにも穏やかな海が豹変して津波になり、人々の暮らしを豊かにした原子力発電所が事故で多くの人を不幸にさせるものになってしまったのを知ってこの今の生活の暮らさずと夢さを知りました。二度と震災が起こってほしくないと切実に思うけど、実際には私たちの身近なところで南海トラフ巨大地震が来ると分かっているので、みんな怖いと思うし本当に危機感を持つべきだと思います。

災害は起こってみたいと分からないと聞くけどその通りで、知らないことだらけだったので、伝承館の存在や震災の跡を残してくれていることにとても感謝したいと思うし、被災者の方の死を無駄にしないためにも私たちはこれらを多くの人に伝え、防災を頑張ろうと思いました。

食いしん坊企画課

21211110 土田菜央

私はみなみそうま SL の活動で初めて経験することばかりで戸惑うことも多々ありましたがボランティアのメンバーたくさん話し合い、試作、検討を繰り返すことで価値のある経験をすることができました。イベント当日までどうなるのかと不安でいっぱいでしたが、会場に来ていただいた方々に「楽しかった!」と書いていただけたり、「また、来たい!」と書いていただけたりして、準備を頑張ってきたよかったです。

1日目の調理イベントでは子どもたちを対象としたチョコエッグ作りを企画しました。企画では子どもたちに楽しんでイベントに参加してもらえるように時間設定や作業の順番を子どもたち目線で考えました。実際にやってみると子どもたちは器用になんでもできる子がいったり、何度も挑戦していることがいたり子どもたち一人一人に個性があり、特性があることを、身をもって感じました。これはこのようなイベントに参加しないとわからなかったことだったと強く感じました。

東日本大震災は日本人に多くの悲しみを与えました。自然災害は日本に住んでいる限り避けられないものです。しかし、過去の出来事について学ぶことで被害を最小限することはできると思います。そのためにも震災に向き合うことは大切であり、被災地に行くことで文章だけではわからない震災の悲しみや虚しさを強く感じました。この思いを悲しみに終わらせるのではなく次に活かしていくことが今のわたしにできることだと感じました。

私は被災地を訪問して震災に対する意識が変わり、人ごとでは済まされない問題であることを知りました。この経験を活かして自分の家族だけでなくもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。

21211116 豊田唯菜

この活動を通して多くのことを体験し学ぶことができました。

南相馬市のことを知り、特産品の特徴を活かしたレシピ開発では試作を重ね満足できるものが出来た時はとても嬉しく、イベントに参加した方の感想を聞いた時は達成感を感じました。東日本大震災・原子力災害伝承館やメモリアルパークで震災当時の状況や復興途中の状態を見て現在も復興途中であること、風化させてはいけない災害だと思いました。農家民宿の方や地域の方との交流でまだ残されている課題は沢山あると学びました。また、震災当時にかけてもらった、嬉しかった言葉や支援も教えていただきました。一方、当時言われて悲しかった言葉や現在訪れた方に東日本大震災は終わったものだと思われていたなど傷ついた言葉も教えていただきました。苦しい状態で買った言葉は記憶に残りやすいと学びました。

南相馬市の方々はとても温かい方々ばかりでした。震災を経験し困難を協力して乗り越えてきたからの優しさもあったと思います。お話の中で災害が起きたときは地域の方との交流が必要になると学びました。情報の共有や困っているときの助け合いなど周りの人と協力することが大事であり、災害が突然起きても焦らないために、近所の方や地域との交流を大切に、防災バックの中身を確認しようと思いました。

福島県の農産物や海産物は誇れるものばかりです。しかし、風評被害の根絶は課題だと思いました。安全性を証明するために様々な検査をし、努力していることは無知なだけでたくさんありました。風評被害をなくすために私ができることは学んだことを広めることです。そのため、情報発信を行い、学びを活かしたいと思います。

7 参加者の声(感想)



2221163 山田楓真

今回、自分はイベント会場への呼び込みを行った。最初は子供とたくさん話したこともないし、子供に対しての触れ合い方や話し方など全く分からなかったし、自分のことを知らない大人の方への話しかけ方や言葉遣い、警戒されずに話を聞いてもらえるにはどうしたらよいかなど様々なことを考え、たくさんの人にイベントに来てもらえるよう尽力した。この経験からコミュニケーションの取り方や要点のまとめ方、伝え方を学ぶことができた。また、実際にイベントから帰られる大人の方々から何度か「声をかけてくれてありがとう」といった感謝の言葉をいくつか頂き、イベントを楽しんでもらえたという嬉しさと、自分の行動が報われた気がして何とも言えないぐらい嬉しかった。

他には東日本大震災のことを学ぶため防災センターや伝承館などの場所を訪れた。防災センターでは施設中央の津波の高さを表す柱から津波の実際の高さを学んだり、災害の対処法などを学んだ。自分は家では災害対策をあまりしていなかったのでも参考になった。伝承館では、実際の震災当時の映像や状況が分かる資料などがたくさん展示しており、震災後の悲惨な状況を肌で感じた。自分にとってはかなりショックなものも多くて目を向けられないものも多かった。それでもその場の空気や周りの説明の声や少し目に入った展示物から震災の恐ろしさや悲しさ、当時何が起きていたかを学ぶことができた。

22211015 石原夕薫

実際に現地を訪れることでとても濃く充実した4日間になったなと実感しました。

特に農家民宿で宿泊することで現地の人から直接、震災の様子をうかがうことができたことは貴重な経験であったなと思いました。なぜなら、普段はテレビやインターネットなどのメディアを通してしか聞くことができないからです。また、みなみそうまに訪れて、内陸側は復興が進んでいるが、海岸沿いはまだ復興が進んでいない地域があり、10年以上経っても元の状態には戻ることのできない様子を目のあたりにして津波の恐ろしさを実感しました。

みなみそうまの道の駅で行ったイベントに関しては、イベントを通して地元の人たちとふれあうことができたり、自分たちが一生懸命考えたものを楽しんでもらえてとてもうれしかったです。

この4日間のうち、特に最後に行った請戸小学校の中にあつた当時この小学校に通っていた人たちのメッセージをみて感銘を受けました。そのなかでも、「平凡に生きていることが1番の幸せ」この言葉に私は胸を打たれました。

さらに、南相馬には藍染めや野馬追などの貴重な伝統が薄れているという危機があることをお聞きしました。藍染めは実際に体験してみないと藍の香りが分からないし、色の出かたや、模様も人それぞれであるため、藍染めは他のヒトにも是非体験してほしいなと思いました。これより、今後このような伝統を守るための活動ができたらいいなとも思いました。

21211005 安藤凛香

まず、自分たちが企画してきたイベントが形となり、実際に開催して南相馬の方に楽しんでいただけたことにホッとしました。企画準備をしていく中で、授業ではやってこなかったこともたくさんあり分からないことばかりで、手探りの状態で進めていました。そのため、実際に南相馬での活動をする前は、本当に人が集まるのか、イベントとして成り立つのか、わくわくよりも不安や心配の方が大きかったです。ところが、自分の目で楽しんでいる様子を見たり、「おにぎりおいしかったよ、家で作るね」と声をかけてもらったりしたことで、自分たちで企画して準備してきたことをしっかりと南相馬の方に届けることができたという自信をつけることができました。

また、活動の中で一番感じたことは南相馬の方々の温かさで、どこに行っても「よく来たね〜」「ボランティアしてくれてありがとう」と温かく迎えてくださいます。実際に南相馬に行くことができよかったなと思いますし、こんな強くて優しい方たちのために活動できることをうれしく思いました。

ボランティアというと、ボランティアをする側が「してあげる」「与える」というイメージが強かったです。しかし、実際のところは、津波に対する意識や対策、助け合いの心、困難に立ち向かう強さなどたくさんの方々のことを実際に肌で感じて学ぶことができました。貴重な経験をさせていただいたと思います。

7 参加者の声(感想)

21211098 高須光里

ボランティア活動を通して、レシピ開発やイベント運営など初めての経験を多くさせて頂きました。

レシピ開発では南相馬市の農作物の魅力を伝えることを目標にあまり馴染みのなかった菊いもを使用したおにぎりを考案しました。菊いも本来の美味しさを生かす味付けにする為に試行錯誤を重ねた結果、自分の納得できるものが完成し、開催したイベント内で実際に「美味しい!」「他のイベントでも作りたい!」と言って頂くことができて大きな達成感を感じました。また、交流を通して「お弁当に良さそう!」など自分たちでは気づかなかったレシピの魅力にも気づくことができた良い機会となりました。

実際にイベントを大学外の方を対象に行うことは想像以上に考えるべきことが多く、無知がゆえに企画が白紙になることもありました。しかし、運営する中で事前準備の大切さやイベントでの立ち振舞いなど多くのことを学ぶことができました。

南相馬市で農家民宿に泊まらせて頂く中で福島の方の温かさや地域コミュニティの高さを感じました。実際に南相馬市に訪れ、現地の方の思いや震災の体験談を聞いたり、震災遺構を訪れたりしたことで東日本大震災によって突然日常が奪われたことを実感し、当たり前の日常の有難さを学びました。また、事前に原発について調べる中で安全安心を求めた厳しい検査基準を通過した食品が流通されているなどの正しい情報を初めて知り、根強く残る風評被害を身に染みて感じました。そのため、今回の学びを活かして、災害に備えると共に周囲に伝えることで少しでも風評被害が払拭できるように貢献したいです。

21211020 井上冨生

自分たちが一から企画してきたイベントが形となり、実際に開催することができ南相馬の方々に楽しんでいただけたことが一番感動し、安堵した。

料理教室は、何度も試作を重ねたため不安は少なかったが、イベントは料理教室を優先して動いていたため南相馬に行く3日前から本格的な準備は始めていなかった。そのためわくわくよりも不安や心配が大きい中イベントを開催していたと思う。実際に現地に行って地域の方と交流することができとても楽しかった。しかし、準備不足部分が多々あったので余裕を持って事前にスケジュールを立てるべきだった。今回の反省点を次の世代へとつなげ私たちの時よりもすばらしいものをつくってもらいたい。

イベントを開催するだけでなく、東日本大震災について深い学びを得た。

東日本大震災が起こった時、わたしはまだ小学生で津波の被害の大きさを全く理解できていなかったと思う。成人した今もう一度東日本大震災について学べたことは、このみなみそうまSLの中で一番自分を成長させるきっかけとなったと思う。被害があった場所や被災された地域の人から、実際の話を聞くことが一番大切であることを学んだ。

農家民宿の方は私たちを温かく迎えてくださり、いつも私たちのことを考えて行動してくださった。農家民宿のお父さんは南相馬市の美味しいお刺身を朝早くから市場に買いに行きさばいてくれた。お母さんは監禁体験、南相馬の魅力、東日本大震災のことなど時間の許す限りずっと教えてくださった。農家民宿は私の第二の実家になるくらい楽しく安心できる場所となった。

21211074 近藤祐菜

私がみなみそうまSLに参加して良かったと思ったことは、南相馬市へ行き、自分の目で震災の復興の様子を見たり、南相馬市の方に震災に関するお話などを直接聞けたりしたこと。

昨年みなみそうまSLをやっていましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響で南相馬へ行くことができず、復興支援に携われたという実感がありませんでした。しかし、今回は実際に行くことができたので、現地の方に当時の事、今現在の課題などいろいろ教えてもらうことができました。またイベントや民宿などで現地の方と交流を通して、南相馬市の方が実際に愛知で広めてほしい(知ってもらいたい)伝統品や南相馬市の方がよく食べている食べ物なども教えてもらいました。

イベントブースでは子どもたちが、「これもっとやりたい。お姉さん達は次いつ来てくれるの?」と言いつつ来てくれたり、楽しそうに遊んでいる様子や、料理教室で「のまん知ってるよ。」「これ愛知のお菓子なんだ。」と興味津々に一生懸命にお菓子作りに取り組んでくれる姿を見たりして、事前準備をみんなで協力し、前日もみんなで夜の遅くまで折り紙を折って良かったと思いました。

様々な活動を通して、南相馬市の方の想いを愛知でも広げ、次回南相馬市に行く機会があれば、今回の活動で知ることができた現地の方の想いを活かしたイベントができたらよいと思いました。

21211016 伊藤咲良

みなみそうまSLに参加して、防災センターで実際に到達していた津波の高さを見たり、海沿いのメモリアルパークに行き実際に海を眺めたりして、こんなに広く穏やかな海が驚異に変わるというのは全く想像もつかないと改めて感じました。

1日目の防災センターでは、以前から気になっていた乳幼児の非常食について質問をしました。やはり避難所で非常食として備蓄しているものは少なく、また粉ミルクはあってもそれを溶かすお湯がなく苦労することもあったそうです。乳児用の液体ミルクが日常の母親の負担軽減や外出時の持ち運び用としてだけでなく、災害備蓄用として広く普及されるようになると良いと思いました。

2日目と3日目のイベント開催では、2,3歳くらいの子どものみならず小学生まで、たくさん子どもたちに参加してもらうことができました。特に良いと思ったのは、いくつかの魚の突っ刺し大パネルとその横に用意したお魚図鑑です。クロダイ、ヒラメ、カレイなど保護者の方が知っていることが多く親子での会話広がったり、地元の方からおいしい調理法を教えていただいたりするきっかけになりました。また、子どもたちが同じものを図鑑で探し、その過程で他の魚にも興味を持つ様子も見られました。

宿泊した農家民宿の方から、現在、農家民宿の方がふるさと納税の返礼品として作っている監染は、震災後に復興事業の一つとして東北の大学の方から教えて頂いたのがきっかけだと伺いました。災害が起こった後どんな思いを持ち、どう行動するかがとても大切であるということを深く感じられました。

Ⅲ. 2022年度の地域連携活動データ

1. 活動件数

①活動分類 / 活動連携先

活動分類 \ 連携先等			行政機関		教育機関			医療・保健機関	企業	NPO等	専門職業人	一般市民	その他	計 (複数選択含む)
			日進市	日進市以外の行政機関	他大学	高等学校・専門学校	幼稚園・小学校・中学校							
連携協定	0	包括的連携協定等	1	3	2	1	0	4	2	3	0	0	0	16
研究連携	1-1	共同研究・受託研究等（契約等に基づく）	1	0	1	0	0	0	4	0	0	0	1	7
	1-2	コンサルタント・技術指導等	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	3
	1-3	各種審議会、委員会等への参画	7	36	1	0	2	8	1	1	0	1	6	63
	1-4	教員の講師派遣	2	42	3	11	30	1	0	1	27	3	4	124
	1-5	上記に該当しない研究連携または教員の社会貢献活動	4	1	2	2	0	2	0	1	2	0	1	15
研究・教育連携	2-1	協同プロジェクト（商品開発、プロモーションなど）	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	2	5
	2-2	地域課題解決、地域行事協力	7	10	3	0	1	0	1	3	2	0	0	27
	2-3	産官学協同研究センターの共同プロジェクト	5	1	0	0	0	1	8	0	0	0	3	18
	2-4	上記に該当しないその他の教育連携	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
教育連携	3-1	社会人教育（公開講座、生涯学習含む）	5	10	0	0	2	0	0	0	1	5	1	24
	3-2	職業人教育	0	33	2	3	19	1	0	0	32	0	6	96
	3-3	地域人材の育成	1	5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7
	3-4	幼・小・中・高校生教育	0	0	1	10	0	1	1	0	0	3	1	17
	3-5	学生ボランティア（各学部、学科、研究室経由または授業関連）	2	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	6
	3-6	学生ボランティア（サービスラーニングセンター経由）	1	2	1	0	3	0	0	3	0	1	2	13
	3-7	学生ボランティア（教職センター経由、その他）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の連携等	4	その他の連携（施設開放など）	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	4
計			37	144	19	28	57	18	22	12	65	14	28	444

②学部等部署 / 連携先

学部等部署 連携先等	行政機関		教育機関			医療・保健機関	企業	NPO等	専門職業人	一般市民	その他	計 (複数選択含む)
	日進市	日進市以外の行政機関	他大学	高等学校・専門学校・中学校	幼稚園・小学校・中学校							
管理栄養学部	6	26	4	5	3	6	7	3	3	2	8	73
メディア造形学部	9	3	0	1	0	1	11	1	0	0	3	29
ヒューマンケア学部	12	53	2	15	28	1	0	2	27	4	3	147
看護学部	1	2	0	0	0	5	0	1	2	0	5	16
栄養科学研究科	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4
メディア造形研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
こどもケア研究科	0	35	0	2	20	0	0	0	23	3	1	84
看護学研究科	2	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	7
別科助産学専攻	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
地域連携推進研究機構	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
サービスラーニングセンター	3	2	1	0	3	0	0	3	0	1	2	15
産官学共同研究センター	3	1	0	0	0	1	3	0	0	0	1	9
健康・栄養研究所	0	2	0	0	0	0	1	0	3	0	0	6
こどもケアセンター	4	38	2	4	21	0	0	1	24	7	1	102
教職センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教養教育機構	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4
図書館	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
その他	1	4	4	2	0	1	1	0	2	1	7	23
計	42	171	13	33	76	15	24	12	85	18	34	523

③活動分類 / 学部等部署

活動分類		学部等部署		管理栄養学部	メディア造形学部	ヒューマンケア学部	看護学部	栄養科学研究科	メディア造形研究科	こどもケア研究科	看護学研究科	別科助産学専攻	地域連携推進研究機構	サービスラーニングセンター	産官学共同研究センター	健康・栄養研究所	こどもケアセンター	教職センター	教養教育機構	図書館	その他	計 (複数選択含む)
				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
連携協定	0	包括的連携協定等	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	16
研究連携	1-1	共同研究・受託研究等(契約等に基づく)	6	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	9
	1-2	コンサルタント・技術指導等	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	1-3	各種審議会、委員会等への参画	26	1	27	3	0	0	7	0	0	0	0	1	0	0	8	0	0	0	3	76
	1-4	教員の講師派遣	17	1	49	2	0	0	29	1	0	0	0	0	0	0	33	0	0	0	2	134
	1-5	上記に該当しない研究連携または教員の社会貢献活動	0	0	10	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	20
研究・教育連携	2-1	協同プロジェクト(商品開発、プロモーションなど)	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	2-2	地域課題解決、地域行事協力	3	2	10	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	0	0	2	25
	2-3	産官学協同研究センターの共同プロジェクト	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	21
	2-4	上記に該当しないその他の教育連携	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
教育連携	3-1	社会人教育(公開講座、生涯学習含む)	4	1	6	3	1	0	4	1	1	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	27
	3-2	職業人教育	6	0	29	6	2	0	24	1	0	0	0	0	0	4	25	0	0	0	2	99
	3-3	地域人材の育成	2	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8
	3-4	幼・小・中・高校生教育	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	0	1	19
	3-5	学生ボランティア(各学部、学科、研究室経由または授業関連)	2	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	8
	3-6	学生ボランティア(サービスラーニングセンター経由)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13
	3-7	学生ボランティア(教職センター経由、その他)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の連携等	4	その他の連携(施設開放など)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	
計			79	25	145	19	5	0	64	5	1	1	15	7	8	87	0	4	1	22	488	

2. 活動一覧

0. 協定

番号	協定名	部門	代表者	締結先	締結年月日
1	日進市との連携協定協力に関する協定	大学	学長	日進市	2010年2月～
2	日本赤十字愛知県支部との連携協力に関する協定	大学	学長	日本赤十字愛知県支部	2014年11月～
3	熊野市との連携協力に関する協定	大学	学長	三重県熊野市	2015年6月～
4	高大連携に関する協定	大学	学長	愛知県公立高等学校校長会家庭部	2015年7月～
5	菰野町との包括的連携に関する協定	大学	学長	菰野町	2015年7月～
6	愛知学長懇話会による単位互換事業	大学	学長	愛知学長懇話会(愛知県内の単位互換事業参加各大学)	2002年4月～
7	愛西市及び愛西市農畜産業振興会との連携協定	大学	学長	愛西市 愛西市農畜産業振興会	2017年1月～
8	(福)中日新聞社社会事業団との連携協定	大学	学長	(福)中日新聞社社会事業団	2017年12月～
9	医療法人大医会との連携協定	大学	学長	医療法人大医会	2019年3月～
10	東名古屋医師会医療介護総合研究センターとの連携に関する協定	大学	学長	東名古屋医師会医療介護総合研究センター	2019年10月～
11	栄養関連サービス開発・提供に関する契約	管理栄養学部	学部長	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	2020年5月～
12	名城大学総合研究所との学術研究交流に関する協定	管理栄養学部	学部長	名城大学総合研究所	2021年3月～
13	名古屋市中央卸売市場本場、(一社)名古屋中央卸売市場協会との連携協定	管理栄養学部	学部長	名古屋市中央卸売市場本場、 (一社)名古屋中央卸売市場協会	2017年12月～
14	医療法人尚豊会との包括連携協定	管理栄養学部	学部長	医療法人尚豊会	2018年4月～
15	イオンモール(株)とのイオンモール長久手における産学連携に関する協定	管理栄養学部	学部長	イオンモール(株)	2021年9月～
16	生活協同組合コープあいちとの産学連携	管理栄養学部	学部長	生活協同組合コープあいち	2022年4月～

1-1. 共同研究・受託研究等

番号	連携先分類	共同研究・受託研究先	内容	代表者(所属)	代表者(氏名)	期間	活動内容など
1	企業	アサヒグループ食品株式会社	ポシラクトiの抗原性に関する研究	管理栄養学部	和泉秀彦	2022年4月1日～ 2025年3月31日	ポシラクトiのたんぱく質の分解程度の解析、患者血清との反応性の分析
2	認可法人	日本赤十字社愛知県支部	災害時の食の支援のためのキッチンカーの活用に関する研究	管理栄養学部、 地域連携推進研究機構	岸本満	2022年4月～ 2023年3月	日本赤十字社愛知県支部が購入したキッチンカーの衛生管理に関する各種マニュアルと災害時の炊き出しメニューレシピを作成した。

3	企業	朝日メインテナンス工業(株)	栄養科学研究科寄附講座「食品安全マネジメントシステム(FSMS)特論」	管理栄養学部, 栄養科学研究科	岸本満	2022年9月～ 2023年3月	寄附講座 栄養科学研究科の食品安全マネジメントシステム(FSMS)特論 特別講師12名 大学院聴講生7名受講
4	企業	榊ホシザキ中央研究所	電解水の手洗いデータ取得及び凍結電解水の特性に関する研究	管理栄養学部	岸本満	2022年4月1日～ 2023年3月31日	医療用WOXを用いた手洗いデータを取得する。また、凍結電解水の有効塩素濃度保持期間、有効な解答方法を研究する。
5	企業	LIXIL株式会社	トイレ組込み尿塩分測定装置開発に関する研究	管理栄養学部	塚原丘美	2022年4月1日～ 2022年3月31日	共同研究 尿Na/K 食塩摂取量
6	他大学	藤田医科大学 医学部医科ブレ・プロバイオティクス共同研究講座	プレ・プロバイオティクスが腸内細菌叢と食物アレルギーに与える影響	管理栄養学部	藤木理代	2023年4月8日	プレバイオティクスによる腸内細菌叢の変化と、食物アレルギー改善の機序の解明

1-2. コンサルタント・技術指導等

番号	連携先分類	コンサル・技術指導先	内容	所属	氏名	期間	活動内容など
1	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	静岡県立焼津中央高校合唱部	合唱部 第49回オペラ公演「仮面舞踏会」衣裳製作指導	メディア造形学部	水嶋丸美	2022年10月～ 2024年6月上旬	オペラ「仮面舞踏会」衣裳製作指導
2	名古屋市立工業研究所	Musubuラボの中小企業会員にデザインセミナー(講演+技術指導)	OEMからODMへ-デザイン力を高めて自社ブランド商品を立ち上げる-	メディア造形学部	黄ロビン	2022年8月26日	事例を通して、デザイン主導(ODM)の開発手法を紹介、その後ワークショップ形式で体験
3	企業	サントリーウェルネス(株)	「高齢者の脳の健康維持に資する食事とその評価方法」について専門的立場からの助言及び指導	健康・栄養研究所	下方浩史	2021年5月19日～ 2022年12月31日	「高齢者の脳の健康維持に資する食事とその評価方法」について専門的立場からの助言及び指導

1-3. 各種審議会・委員会等への参画

番号	連携先分類	参画組織名	審議会委員等の名称	所属	氏名	任期	活動内容など
1	医療・保健機関	瀬戸旭医師会	瀬戸旭在宅医療介護連携推進協議会 委員	管理栄養学部	塚原 丘美	2019年4月1日～	在宅医療
2	医療・保健機関	公益社団法人日本栄養士会	栄養ケア・ステーション推進委員会 委員	管理栄養学部	塚原 丘美	2021年度～2024年度	栄養ケア・ステーション
3	日進市以外の行政機関	厚生労働省健康局	管理栄養士国家試験出題基準(ガイドライン)改定検討会 構成員	管理栄養学部	塚原 丘美	2022年4月1日～ 2023年3月31日	管理栄養士国家試験
4	日進市以外の行政機関	厚生労働省健康局	管理栄養士国家試験 委員	管理栄養学部	塚原 丘美	2021年4月1日～ 2022年3月31日	管理栄養士国家試験

5	医療・保健機関	愛知県糖尿病療養指導士認定機構	運営委員会 委員	管理栄養学部	塚原 丘美	2019年度～	愛知県糖尿病療養指導士
6	医療・保健機関	東名古屋医師会 医療介護総合研究センター	在宅医療・介護連携支援センター連絡協議会	管理栄養学部	塚原 丘美	2018年度～	在宅支援 医師会連絡協議会
7	公益財団法人	公益財団法人愛知県学校給食会	愛知県学校給食会 評議員	管理栄養学部	塚原 丘美	2016年6月～ 2024年6月	評議員
8	日進市以外の行政機関	(公財)名古屋市文化振興事業団	ファン・デ・ナゴヤ美術展 企画委員	メディア造形学部	伏木啓	2022年4月1日～ 2023年3月31日	公益財団法人名古屋市文化振興事業団主催の「ファン・デ・ナゴヤ美術展」の企画委員として、出品者の選出、審査、助言を行う。
9	日進市以外の行政機関	みよし市	みよし市保育所管理運営法人選定審査会 会長	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2023年2月～ 現在に至る	みよし市 保育所選定
10	愛知警察署	愛知警察署	愛知県愛知警察署協議会	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2023年1月～ 2024年12月	警察署 協議会
11	日進市以外の行政機関	愛知県教育委員会	「早寝早起き朝ごはん」運動の推進にかかる文部科学省被表彰選考委員会 副会長	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2019年から隔年	早寝早起き 被表彰者 選考
12	日進市以外の行政機関	みよし市	みよし市児童育成計画審議会 会長	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月～ 2026年3月	みよし市 児童育成
13	日進市以外の行政機関	津島市	津島市子ども子育て会議 会長	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2021年～現在に至る	子ども・子育て会議
14	日進市以外の行政機関	犬山市教育委員会	犬山市教育委員会プロポーザル審査委員会	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月・12月	プロポーザル審査委員会 会長
15	日進市以外の行政機関	未来教育特区審議会審議委員	soran小学校設置後の監査	ヒューマンケア学部	清水克博	2020年4月1日～ 2023年3月31日	教育特区設置校SORAN小学校の監査
16	日進市以外の行政機関	岡崎市	学校給食献立作成討議会	管理栄養学部	高田 尚美	2022年5月13日～2023年3月31日	学校給食献立内容に関し 教諭・保護者・栄養教諭・給食調理受託者・行政への提言
17	日進市以外の行政機関	新城市教育委員会	学校給食基本方針推進施策策定委員会	管理栄養学部	高田尚美	2022年11月～継続中	新城市 学校給食基本方針 推進施策 策定
18	医療・保健機関	愛知県保健医療局健康医務部こころの健康推進室	愛知県アルコール健康障害対策推進会議 会長	看護学部	五十里 明	2018年度～現在	愛知県、アルコール健康障害対策、政策提言

19	医療・保健機関	愛知県保健医療局健康医務部健康対策課	愛知県健康づくり推進協議会会長	看護学部	五十里 明	2013年度～現在	愛知県、健康づくり対策、政策提言
20	医療・保健機関	名古屋市健康福祉局感染症対策室	名古屋市感染症診査協議会会長・感染症部会部会長	看護学部	五十里 明	2019年度～現在	名古屋市、感染症対策、治療に関する診査
21	愛知県労働局	愛知県労働局	愛知県障害者雇用審議会	ヒューマンケア学部	吉村匡	2023年3月24日	愛知県の障害者雇用の現状と課題について協議し、県の施策について意見を集約する。
22	その他の教育機関	愛知県教育委員会	キャリア教育・就労支援推進委員会	ヒューマンケア学部	吉村匡	2022年6月30日、2023年2月10日	特別支援学校における今後のキャリア教育の内容及び就労先との連携の在り方について検討する。
23	日進市以外の行政機関	津島市	子ども・子育て会議 会長	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月12日～現在に至る	津島市の保育・教育・福祉についての情報共有・意見交換
24	日進市	市民協働課	日進市にぎわい交流館運営協議会	ヒューマンケア学部、サービスラーニングセンター	石原貴代	2022年2月1日～2024年1月31日	にぎわい交流館の運営について計画や運営状況について検討する
25	日進市以外の行政機関	名古屋市教育委員会	キャリア支援モデル事業	ヒューマンケア学部	横井直子	2022年4月1日～2023年3月31日	派遣された名古屋市立高等学校へ出向き、発達障害や課題を抱えている生徒へのキャリア審に関する指導・助言を行う。
26	日進市	日進市	日進市保育園運営協議会 委員	ヒューマンケア学部	横井直子	2021年4月1日～2023年3月31日	日進市の保育園等の運営や整備に関する協議・確認を行う
27	日進市以外の行政機関、企業	名古屋市教育委員会	幼児教育支援室「幼保小接続資料」作成検討会	名古屋市教育委員会指導室 幼児教育支援室	津金美智子	2022年4月1日～2023年3月31日	幼児教育と小学校教育との円滑な接続に向けて ～幼児期の遊びを通した主体的・対話的で深い学びを小学校教育での学びにつなぐ～ https://drive.google.com/file/d/11qkECMEsR-YhJhfMmLmc3rJXzY5HME/view?usp=share_link 幼保小接続資料(上記リーフレット補足資料) https://drive.google.com/file/d/1F_pDSnZ4LbP03UaOfpevoBCh113YajD/view?usp=share_link
28	日進市	日進市役所 子ども未来部 子育て支援課	子ども施策推進委員会	日進市役所 子ども未来部 子育て支援課	津金美智子	2022年4月1日～2023年3月31日	日進市が行っている子どもに関わる施策に関する審議
29	日進市以外の行政機関	愛知県幼児教育研究協議会(愛知県教育委員会)	幼児教育における「社会に開かれたカリキュラム」の実現に向けて ～幼児期に育みたい資質・能力の理解に向けて～	ヒューマンケア学部	津金美智子	2022年4月1日～2023年3月31日	https://www.pref.aichi.jp/soshiki/gimukyoyoku/youji20230503.html

30	愛知県国民健康保険団体連合会	愛知県国民健康保険団体連合会	知県国民健康保険団体連合会保険事業支援・評価委員会	管理栄養学部	岡田希和子	2022年4月1日～ 2023年3月31日	委員会
31	日進市以外の行政機関	知多地方教育事務協議会	知多地方教育事務協議会	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年4/4, 5/19, 10/5, 2023年1/11, 3/8	知多地方5市5町の教育活動に関する協議ならびに提言
32	日進市以外の行政機関	東浦町教育委員会	東浦町教育委員会定例会議	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年4月1日～ 2023年3月31日 (毎月1回程度)	東浦町内の教育活動に関する協議ならびに提言
33	日進市以外の行政機関	東浦町社会福祉協議会	東浦町社会福祉協議会定時理事会	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年6月2日、12月15日、2023年3月16日	東浦町における社会福祉活動に関わる経過状況や問題点・対策・運営に対する提言
34	日進市以外の行政機関	東浦町教育委員会	東浦町総合教育会議	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2023年1月30日	東浦町における教育活動に関わる問題点や対策・運営に対する提言
35	日進市以外の行政機関	半田市教育委員会	半田市教育点検評価会議	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年7月14日	半田市教育委員会事業点検評価、教育行政に関する組織・運営に対する提言
36	その他の教育機関	文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室	令和4年度市町村教育委員会オンライン協議会	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年9月8日	「令和の日本型学校教育」の構築、全国各教育委員会の取り組み
37	日進市以外の行政機関	大府市長部局	大府市文化財保護審議会	ヒューマンケア学部	西尾 一	2020年6月～	文化財の保存及び活用についての活動
38	日進市以外の行政機関	愛知県県民文化局文化部文化芸術文化財室	愛知県文化財保護指導委員会	ヒューマンケア学部	西尾 一	2023年4月～	国及び県指定文化財、重要埋蔵文化財包蔵地の保存管理についての指導・助言
39	日進市以外の行政機関	大府市市民協働部文化交流課文化振興係、おおぶ文化交流の杜図書館	おおぶ文化交流の杜図書館運営委員会	ヒューマンケア学部、こどもケアセンター	加古有子	2006年度から委員を継続 2022年度からは委員長	おおぶ文化交流の杜図書館の運営計画、資料の選定、収集及び除籍に係る方針に関すること、運営のモニタリングに関することについて協議する。
40	日進市	日進市環境課	日進市環境まちづくり評価委員会	ヒューマンケア学部	石原貴代	2022年(令和4年)4月1日～2024年(令和6年)3月31日	日進市環境基本計画の年次報告書に関する審議、その他環境町づくりに関する審議
41	学会	一般社団法人日本美術教育学会	美術教育実践研究奨励賞 審査委員	ヒューマンケア学部	水谷誠孝	2022年5月1日～ 2023年3月31日	美術教育実践研究奨励賞は、美術教育の振興に寄与する優れた実践研究を奨励することを目的としている。美術教育における優れた実践研究の成果を広く周知することで、美術教育実践研究の振興を図る。審査委員会の委員を務めた。 http://www.aesj.org/nc2/htdocs/%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E5%90%84%E8%B3%9E%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E8%A6%8F%E7%A8%8B%E7%AD%89/

42	日進市以外の行政機関	大府市	大府市ビジュアルプロモーションマーク選定委員会委員長	ヒューマンケア学部	水谷誠孝	2022年4月1日～ 12月28日	大府市は、市のイメージを視覚的に表現するビジュアルプロモーションマークを全国公募した。デザイン募集で予想を上回る315作品もの提案があり、有識者からの審査・選定や市民などへの意見公募により、1作品を採用した。今後、市の統一的なブランド展開を効果的に進めるため、このマークをさまざまな場面で活用する。5名の有識者が選定委員として組織され、委員長を務めた。 https://www.city.obu.aichi.jp/shisei/koho/1021875/index.html
43	日進市以外の行政機関	一般財団法人日本食生活協会	評議員会	管理栄養学部	川崎和彦	2022年6月22日・ 2023年3月24日	一般財団法人日本食生活協会の運営に関する事
44	日進市以外の行政機関	愛知県学校給食会	理事会	管理栄養学部	川崎和彦	2023年3月9日	愛知県学校給食会運営に関する事
45	日進市以外の行政機関	岐阜県保健医療課	行政栄養士新任研修	管理栄養学部	川崎和彦	2022年7月11日・ 2023年2月13日	地域の健康課題等を把握する能力をの育成
46	日進市	日進市保育施設等事故検証委員会	日進市保育施設等事故検証委員会 委員	管理栄養学部	和泉秀彦	2017年～	事故検証
47	NPO等	アレルギー支援ネットワーク	食物アレルギー対応支援	管理栄養学部	和泉秀彦	2009年度～	食物アレルギー対応支援
48	日進市	日進市保育運営協議会	日進市保育運営協議会	ヒューマンケア学部	石垣儀郎	2022.4.1～2024.3.31	日進市保育園利用調整基準の策定および、運営状況の確認
49	日進市以外の行政機関	農林水産省東海農政局消費・安全部消費生活課	令和4年度消費者団体等との意見交換	管理栄養学部	安達内美子	2023年2月28日	農林水産施策や消費者施策の推進及び施策への反映に関する事
50	公益財団法人	公益財団法人愛知県農振興基金	公益財団法人愛知県農業振興基金評議員会	管理栄養学部	安達内美子	2021年6月～	愛知県の農業振興に関する事
51	日進市以外の行政機関	愛知県農林水産局農政部食育消費流通課	愛知県食育推進会議	管理栄養学部	安達内美子	2021年4月～	愛知県食育推進計画に関する事
52	日進市以外の行政機関	愛知県農業水産局農政部食育消費流通課	第17回食育推進全国大会実行委員会企画委員会	管理栄養学部	安達内美子	2021年3月～ 2022年8月	第17回食育推進全国大会inあいちの企画に関する事
53	日進市以外の行政機関	愛知県農業水産局農政部食育消費流通課	第17回食育推進全国大会実行委員会	管理栄養学部	安達内美子	2021年3月～ 2022年9月	第17回食育推進全国大会inあいちに関する事
54	日進市以外の行政機関	愛知県農業水産局農政部食育消費流通課	いいともあいち運動推進協議会構成員	管理栄養学部	安達内美子	2021年3月～	いいともあいち運動の推進に関する事
55	日進市以外の行政機関	長久手市みどりの推進課	長久手市食育推進支援会議	管理栄養学部	安達内美子	2017年3月～	長久手市食育推進計画の策定と活動に関する事

56	日進市	日進市農政課	日進市食育推進委員会	管理栄養学部	安達内美子	2013年10月～	日進市食育推進計画の策定と実施に関すること
57	他大学, 医療・保健機関, 一般市民	日本パラスポーツ看護学会	理事 学術誌編集委員会	太成学院大学	田村玉美	2022年4月1日～ 2024年3月31日	学会運営及び毎年の学術集会での演題の募集、査読
58	日進市以外の行政機関	名古屋市教育委員会	名古屋市小学校給食調理等業務委託事業者評価委員	管理栄養学部	岸本満	2022年4月1日～ 2023年3月31日	名古屋市小学校給食調理等の委託業務事業者の能力及び提案の評価を行う
59	日進市以外の行政機関	名古屋市教育委員会	小学校給食調理等業務委託事業者評価 評価委員	管理栄養学部	岸本満	2022年4月1日～ 2023年3月31日	名古屋市の小学校給食調理等業務を委託する事業者の評価、選定を行う
60	日進市以外の行政機関	あま市教育委員会	あま市学校給食センター調理・配送等業務ブリポーザル審査委員会	管理栄養学部	岸本満	2023年2月～ 2023年7月	学校給食の調理経験の実績が豊富で、安全安心でおいしい給食の提供が可能で、調理配送等業務の安全性及び効率性を確保できる、優れた調理技術や経営能力等を持つ民間事業者を選定する

1-4. 教員の講師派遣

番号	連携先分類	講師依頼元	講義等の内容	所属	氏名	日時	活動内容など
1	日進市以外の行政機関	豊川市子ども健康部 保健センター	健康づくり推進員学びを深める会 講師	管理栄養学部	塚原 丘美	2022年10月17日	健康 食生活
2	日進市以外の行政機関	蒲郡市市民福祉部健康推進課	食生活改善推進員総会 特別講師	管理栄養学部	塚原 丘美	2022年4月22日	健康 食生活
3	日進市	健康福祉部健康課	食生活改善推進員研修会	管理栄養学部	塚原 丘美	2022年10月28日	健康 食生活
4	日進市以外の行政機関	尾張旭市社会福祉協議会	講演	管理栄養学部	塚原 丘美	2023年1月20日、1月27日、2月10日	配食弁当 ボランティア
5	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	名古屋市調理師専門学校	特別講師	管理栄養学部	塚原 丘美	2022年11月9日	調理 生活習慣病
6	医療・保健機関	愛知県栄養士会	地域活動部会研修会	管理栄養学部	塚原 丘美	2022年11月6日	地域活動 実践研究
7	その他の教育機関	名古屋市高年大学鯉城学園	食品の安全と衛生	管理栄養学部	伊藤勇貴	2023年1月27日	環境専攻の受講生に対する特別講義
8	他大学	名古屋大学体育会	令和4年度 名古屋大学体育会 フレッシュマンズ・アセンブリー	管理栄養学部	大嶋 里美	2022年6月25日	体育会に所属する部活の新入生に向けた栄養のアドバイス
9	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	岡崎市立新香山中学校	新香山中学校栄養指導講演会	管理栄養学部	大嶋 里美	2022年11月26日	生徒・保護者・教員を対象に、成長期における体力や持久力などを高めるための栄養に関する講演を行った。

10	専門職業人,保育士	京都府保育協会	保育士キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	看護学部	金城やす子	2022年11月1日	保育保健計画の作成、保育園における感染予防対策
11	専門職業人	沖縄県八重瀬町保育園	八重瀬町保育園看護師勉強会	看護学部	金城やす子	2022年5月20日 8月26日 12月2日 2月17日	保育保健に関するミニレクチャー 演習 各園から提出される事例 検討
12	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	刈谷市立依佐美中学校	中学校における授業のユニバーサルデザインの視点での授業改善	ヒューマンケア学部	松崎利美	2022年6月9日	授業参観と授業後の協議会指導
13	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	愛知教育大学附属岡崎小学校	家庭科授業における指導助言	ヒューマンケア学部	松崎利美	2022年6月23日	家庭科における主体的対話的な学びについて、附属岡崎小学校での松崎実践(校庭の梅の教材化)を引用して、単元構想の大切さについて講義する。
14	その他の教育機関	愛知県総合教育センター	中学校中堅教諭資質向上研修	ヒューマンケア学部	松崎利美	2022年12月27日	中学校における、授業のユニバーサルデザインの視点での授業改善について
15	日進市以外の行政機関,専門職業人	刈谷市立富士松北保育園	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2023年2月16日	保育者の現職教育 保育の環境 子どもの主体性
16	日進市以外の行政機関,専門職業人	刈谷市立富士松南保育園	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2023年2月2日	保育者の現職教育 保育の環境
17	日進市以外の行政機関,専門職業人	半田市	公開研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2023年1月31日	保育者の現職教育 保育の環境 子どもの主体性
18	日進市以外の行政機関,専門職業人	名古屋市	保育者対象の講座	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年1月11日	保育者の現職教育 保育の環境 子どもの主体性
19	日進市以外の行政機関,専門職業人	名古屋市	保育者対象の講演会	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年12月24日	保育者の現職教育 子どもの主体性を尊重する環境
20	日進市以外の行政機関,一般市民	瀬戸市	子育て講座	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年12月16日	子育て講座
21	日進市以外の行政機関,一般市民	瀬戸市	子育て講座	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年11月18日	子育て講座
22	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	豊田市立挙母こども園	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年11月8日	現職教育 保育の環境

23	知立市教育研究会	知立市教育研究会特別活動部会	これからのキャリア教育	知立市教育研究会	清水克博	2022年9月29日	知立市教育研究会主催による「キャリア教育」の実践授業を参観し指導した後、知立市小中学校教員にこれからのキャリア教育の在り方について講演を行った
24	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	愛知地区小中学校特別活動研究会	学級活動(3)の進め方	愛知地区小中学校研究会	清水克博	2022年8月17日	愛知地区小中学校特別活動研究会において、学級活動(3)の時間に学校カリキュラムに基づく教育実践での学びをどのようにまとめ、新たな学びにつなぐとよいか、その在り方について講演を行った。
25	その他の教育機関	伊賀学校給食会	令和4年度伊賀学校給食研究大会 講師	管理栄養学部	高田尚美	2023年1月	演題 これからの学校の食育～新しい時代を創る子どもを育てる食育～
26	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	令和4年度高浜市立高浜南部幼稚園現職研修	遊びを通して思考力の芽生えを育む～身近な自然に親しみ、幼児の気付きから思考力の芽生えをとらえる～	ヒューマンケア学部	杉江栄子	2022年7月5日・10月7日・11月4日	現職研修 10の姿 思考力の芽生え 自然とのかかわり 環境構成と援助
27	社会福祉協議会	岐阜県社会福祉協議会施設人材部	令和4年度「食育推進研修会」	管理栄養学部	高田尚美	2022年10月21日	給食における食物アレルギー対応と食育についての講義
28	その他の教育機関	海部地方現職教育委員会	第2回海部地区栄養教諭・学校栄養職員研修会	管理栄養学部	高田尚美	2022年7月26日	不足しがちな栄養素を充足する献立作成についての講義と実習
29	日進市以外の行政機関	一宮市教育委員会	令和4年度一宮市夏季集中研修講座「栄養教諭・学校栄養職員 食育授業法研修」	管理栄養学部	高田尚美	2022年8月3日	栄養教諭を対象とした栄養教諭が行う食育の実践・研究の基礎となる計画作成について講義
30	日進市以外の行政機関	岡崎市教育委員会	献立作成研修会 第1～3回	管理栄養学部	高田尚美	2022年7月8日、2022年10月17日、2023年3月10日	新学校給食センター設立に関する学校給食献立作成についての研修会
31	日進市以外の行政機関	新城市教育委員会	令和4年度食物アレルギー対応研修会	管理栄養学部	高田尚美	令和4年6月16日	教員の食物アレルギー対応について共通理解を破壊、専門的知識を高めるための研修会講師
32	他大学、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校・専門学校	コトバdeあそび きらっと☆び かつと(愛知学泉大学 宮武里衣准教授との研究ユニット名)	おのまとぺでう たおう いん むつみほくぶ小 ががっこう	ヒューマンケア学部、こどもケアセンター	加古有子	2023年3月10日	1年生向けのことばに関する体験型授業 オノマトペで替え歌を作るワークショップ

33	他大学	コトバdeあそぼ きらつと☆び かつ(愛知学 泉大学 宮武里 衣准教授との 研究ユニット名)	コトバを育てる ワークショップ ー♪オノマトペ deあそぼin大府 ♪ー	ヒューマンケア 学部, こどもケア センター	加古有子	2022年12月17日	オノマトペをテーマとしたコトバの 遊び&学びのワークショップを実施した。学生によるお楽しみ会と 大学教員による講座の2部構成。
34	日進市以外の 行政機関	東海市教育委 員会 東海市立 中央図書館	読み聞かせボラ ンティア講座	ヒューマンケア 学部, こどもケア センター	加古有子	2022年7月9日 2022年7月16日 (連続2回講座)	読み聞かせ活動に興味のある方 (活動未経験者が主)が選書方法 や読み方などの技術を学ぶ基本 講座で講師を務めた。
35	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関, 専門職業人	豊田市伊保こど も園	園内研修 保育 環境	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年10月25日	保育者の現職教育 保育環境
36	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関	瀬戸市	子育て講座	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年10月21日	子育て 遊び 実践
37	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関, 専門職業人	豊田市大草こど も園	園内研修	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年10月18日	保育者の現職教育 保育環境
38	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関, 専門職業人	豊川市	講演会 保育環 境	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年10月4日	保育者の現職教育 保育環境
39	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関, 専門職業人	名古屋市	講演会 保育環 境	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年9月10日	保育者の現職教育 保育環境
40	日進市以外の 行政機関, 幼稚 園・小学校・中 学校・高等学 校・専門学校, 専門職業人	刈谷市	園内研修	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年9月6日	保育者の現職教育 保育環境
41	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関, 専門職業人	弥富市	公開研修	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年8月26日	保育者の現職教育 保育環境
42	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関, 専門職業人	渡辺桜	園内研修	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年8月26日	保育者の現職教育 保育環境
43	日進市以外の 行政機関, その 他の教育機関, 一般市民	瀬戸市	パパ講座	ヒューマンケア 学部, こどもケア 研究科, こども ケアセンター	渡辺桜	2022年8月21日	パパの育児講座

44	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	名古屋市保育園	講演会	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月19日	保育者の現職教育 保育環境
45	その他の教育機関	愛知県総合教育センター	自立活動講座「情緒障害・自閉症」	ヒューマンケア学部	吉村匡	2022年7月29日	情緒障害・自閉症の児童生徒に対する自立活動の計画立案・実践・評価について講義を行った。
46	その他の教育機関	愛知県教育委員会	キャリア教育・就労支援推進委員会	ヒューマンケア学部	吉村匡	2022年6月30日、2023年2月10日	特別支援学校における今後のキャリア教育の内容及び就労先との連携の在り方について検討する。
47	日進市以外の行政機関,幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校,その他の教育機関,専門職業人	三河幼稚園・こども園教育研究会	講演会	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月18日	講演会
48	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	西尾市	保育者の現職教育	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年7月26日	保育者対象の講演会
49	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	半田市	保育者の現職教育	ヒューマンケア学部,看護学研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年7月19日	公開研修
50	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	東海市	保育者の現職教育	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年7月12日	環境研修
51	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	武豊町	公開保育	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年6月28日	保育者の現職教育
52	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	豊田市立伊保こども園	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月21日	保育者の現職教育
53	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	豊田市立挙母こども園	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月31日	保育者の現職教育
54	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	豊田市立伊保こども園	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月27日	保育者の現職教育

55	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	東海市立加木屋保育園	園内研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月24日	保育者の現職研修
56	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	にしのまち保育園	保育者の現職研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月21日	保育者の現職教育
57	日進市以外の行政機関, その他の教育機関	豊田市大草こども園	園内研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月10日	保育者の現職教育
58	日進市以外の行政機関	武豊町	保育者研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年4月19日	保育者を対象とした現職教育
59	日進市以外の行政機関	常滑市青海公民館	本と歌はおともだち	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年8月17日、 2023年2月15日、 3月15日	テーマに基づく本の紹介と、歌や楽器(ギター)の演奏を鑑賞
60	その他の教育機関	愛知教育大学同窓会東浦町支部	授業改善(個別最適な学び等)	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2023年1月31日	児童にとってわかりやすい授業を展開するためのポイント等
61	その他の教育機関	東浦町立生路小学校	現職教育授業研究会	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年11月26日、 2023年1月23日	新学習指導要領に沿った教育活動推進(授業改善)
62	NPO等	社会福祉法人愛光園 知多地域障害者生活支援センターらifu	知多半島圏域保護者療育研修会(障害児等療育支援事業)	ヒューマンケア学部	浅田謙司	令和4年8月20日	就学までの流れ、学校の種類、その内容ならびに授業の具体的な内容、事例
63	日進市以外の行政機関	東浦町教育委員会スポーツ課	令和4年度東浦町スポーツ指導者養成講習会	ヒューマンケア学部	浅田謙司	令和4年11月26日	東浦町生涯スポーツ振興計画の推進に基づき、より多くのスポーツ指導者の養成を図るため
64	日進市以外の行政機関	愛知県総合教育センター(愛知県教育委員会)研修部	令和4年度小学校中堅教諭資質向上研修(後期)	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年12月26日	小学校における中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭の資質・能力向上
65	その他の教育機関	知多社会科同好会	知多社会科同好会自主研修会講師	ヒューマンケア学部	西尾 一	2022年8月23日、 2023年1月27日	小中学校教員向けの社会科講座
66	専門職業人	静岡県教育委員会	静岡県中堅教諭等資質向上研修(養護教員)専門研修	ヒューマンケア学部	近森けいこ	2022年12月5日	養護教諭が行う生きる力を育む健康教育
67	日進市以外の行政機関, 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	碧南市役所福祉こども部こども課	公開保育研修	ヒューマンケア学部	加藤望	2022年7月28日、 2023年1月26日	3歳児及び5歳児クラスの公開保育を拝見し、参加者が協議ののち、振り返りの時間に指導助言を行う。

68	日進市	名古屋学芸大学地域連携推進研究機構	2022年度名古屋学芸大学公開講座(後期)「遺伝子組換え作物ってなに？」	管理栄養学部	間崎剛	2022年12月17日	2022年度名古屋学芸大学公開講座(後期)
69	名古屋市立工業研究所	Musubuラボの中小企業会員にデザインセミナー(講演+技術指導)	OEMからODMへ-デザイン力を高めて自社ブランド商品を立ち上げる-	メディア造形学部	黄ロビン	2022年8月26日	事例を通して、デザイン主導(ODM)の開発手法を紹介、その後ワークショップ形式で体験
70	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	高浜市立高浜南部幼稚園	遊びを通して思考力の芽生えを育む	ヒューマンケア学部	杉江栄子	2022年7月15日 ～11月4日	遊びを通して思考力の芽生えをとらえ、育む 身近な自然に親しむ 幼児の気付きをとらえる
71	日進市以外の行政機関	滋賀県教育委員会	令和4年度須賀県学校給食研究大会 安全・安心な学校給食推進講習会	管理栄養学部	岸本満	2022年8月9日	食育の推進と学校給食の充実

1-5. その他の研究連携

番号	連携先分類	連携先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など
1	日進市	日進市子育て支援センター	日進市3子育て支援センター連携強化のための連絡会	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	渡辺 桜	2022年6月7日 2022年9月1日 2022年9月8日 2022年12月2日 2023年3月23日	日進市の子育て支援センター間連携のための情報共有、意見交換、視察など
2	日進市	にっしん子育て総合支援センター	子育て支援ネットワーク会議	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	渡辺 桜	2022年7月21日 2022年11月22日 2023年2月28日	子育て支援事業などに関する情報共有、意見交換など
3	医療・保健機関	国立病院機構 天竜病院	看護研究指導	看護学部	金城やす子	2022年4月～ 2023年3月	1～5回は、毎回1時間程度の研究に関する講義 Zoomでの指導は1チーム30分、1回2～5チーム 全8回の指導 1回は看護研究発表会の講評講師として約2時間程度
4	日進市, NPO等	日進市 にっしん子育て総合支援センター NPO法人ファミリーステーションRin	子育て情報誌 ふあまっぶ執筆 「スマホに頼る その前に 子どもと楽しく過ごすワザ」	ヒューマンケア学部, 看護学研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年6月	子育て
5	日進市以外の行政機関	半田市立乙川東小学校	キャリア教育推進研究事業	半田市立乙川東小学校	清水克博	2022年4月1日～ 2023年3月31日	半田市教育委員会「キャリア教育推進研究」に伴い、「これからの小学校校キャリア教育の在り方について調査研究」の研究助言者として助言指導を行った
6	名古屋市精神障害者家族会 後援「一歩一歩の会」	名古屋市精神障害者家族会 後援「一歩一歩の会」	研究テーマ「感情調節困難な方と向き合う家族」を対象とした地域家族会の構築	看護学部	木野有美	2014年～現在に至る	「感情調節困難な方と向き合う家族」を対象とした地域家族会 セルフヘルプグループの展開

7	他大学, 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	コトバdeあそぼ きらつと☆び かつと(愛知学 泉大学 宮武里 衣准教授との 研究ユニット名)	おのまとべでう たおう いん むつみほくぶ小 ががっこう	ヒューマンケア 学部, こどもケア センター	加古有子	2023年3月10日	1年生向けのこたばに関する体験 型授業 オノマトベで替え歌を作 るワークショップ
8	他大学	コトバdeあそぼ きらつと☆び かつと(愛知学 泉大学 宮武里 衣准教授との 研究ユニット名)	コトバを育てる ワークショップ ー♪オノマトベ deあそぼin大府 ♪ー	ヒューマンケア 学部, こどもケア センター	加古有子	2022年12月17日	オノマトベをテーマとしたコトバの 遊び&学びのワークショップを実 施した。学生によるお楽しみ会と 大学教員による講座の2部構成。
9	日進市	日進市 市民協 働課	幼児児童向け SDGs事業「お 話絵本と親子 で楽しむ野菜 料理ー野菜を 美味しく食べる ためにー」	ヒューマンケア 学部	大島 光代	2022年11月19日(土)	ほうれん草のオリジナル絵本・オ リジナルソング・しいたけのオリジ ナル絵本・オリジナルソング・き のこのお話・ほうれん草としいた けの栄養について
10	医療・保健機関	愛知県医療療 育総合センター	発達に躓きを持 つ児の認知機 能の研究	ヒューマンケア 学部	中村 みほ	2022年度	ウィリアムズ症候群 視空間認知 自閉スペクトラム症
11	幼稚園・小学 校・中学校・高 等学校・専門学 校	大府市立北山 小学校	読み聞かせボラ ンティアサーク ル「ミラクルポ ケット」	ヒューマンケア 学部, こどもケア センター	加古有子	2003年度より継続 2004 年度～2008年度まで代 表	朝の読書タイムに絵本の読み聞 かせを実施する。図書祭りでパ ネルシアターなどを実演する。
12	専門職業人	愛知県教育委 員会・名古屋市 教育委員会・ JKYBライフスキ ル教育研究会 東海支部	JKYBライフスキ ル教育1日ワー クショップ	ヒューマンケア 学部	近森けいこ	2023年2月25日	セルフエスティーム形成教育、い じめ防止教育、歯と口の健康教 育
13	専門職業人	愛知県教育委 員会・名古屋市 教育委員会・ JKYBライフスキ ル教育研究会	ライフスキル教 育セミナー	ヒューマンケア 学部	近森けいこ	2022年5月7日	いじめ防止教育の理論と実践に ついて参加型研修を展開した

2-1. 協同プロジェクト(商品開発、プロモーション等)

番号	連携先分類	連携先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など
1	一般社団法人	日本福祉協議 機構	産学福連携事 業 就労支援・ 食品販売プロ ジェクト	管理栄養学部	伊藤勇貴	2021年度～	シリアル食品の販売促進・商品 開発等
2	企業	(株)名給	大学生コラボレ シビBOOKの作 成	管理栄養学部	藤木理代	2023年3月23日	腸からの免疫力アップをテーマ にオリゴ糖を用いたレシピを作 成
3	名古屋市立工 業研究所	Musubuラボの 中小企業会員 にデザインセミ ナー(講演+技 術指導)	OEMからODM へ-デザイン力 を高めて自社 ブランド商品を 立ち上げる-	メディア造形学 部	黄ロビン	2022年8月26日	事例を通して、デザイン主導 (ODM)の開発手法を紹介、その 後ワークショップ形式で体験

4	日進市	日進市地域福祉課	アルツハイマー月間にあわせた認知症啓発事業	メディア造形学部	草野圭一	2022年7月1日～ 2022年10月15日	イベント告知のフライヤー制作、図書館のディスプレイ、ライトアップ
5	日進市以外の行政機関、企業	愛知県スポーツ局アジア競技大会推進課、株式会社新東通信	アジア競技大会を契機とした地域活性化ビジョンに係るフレンドシップモデル事業～ウズベキスタン民族衣装と尾州素材の融合～	メディア造形学部	水嶋丸美	2022年1月～ 2023年3月	ウズベキスタンの民族衣装を尾州の素材を使って日常着にアレンジし、デザイン・制作した。

2-2. 地域課題解決・地域行事協力

番号	連携先分類	参画組織名	内容	所属	氏名	日時	活動内容など
1	日進市以外の行政機関	蒲郡市市民福祉部健康推進課	蒲郡市地域高齢者健康支援型配食サービス事業における支援	管理栄養学部	塚原 丘美	2021年4月方2024年3月	配食サービス 健康支援 高齢者
2	日進市	日進市地域福祉課	地域支援総合事業	管理栄養学部	伊藤勇貴	2008年度～	日進市在住の特定高齢者に対する介護予防事業
3	日進市	日進市子育て支援センター	日進市3子育て支援センター連携強化のための連絡会	ヒューマンケア学部、こどもケアセンター	渡辺 桜	2022年6月7日 2022年9月1日 2022年9月8日 2022年12月2日 2023年3月23日	日進市の子育て支援センター間連携のための情報共有、意見交換、視察など
4	日進市	にっしん子育て総合支援センター	子育て支援ネットワーク会議	ヒューマンケア学部、こどもケアセンター	渡辺 桜	2022年7月21日 2022年11月22日 2023年2月28日	子育て支援事業などに関する情報共有、意見交換など
5	日進市以外の行政機関、他大学、専門職業人	石川県警察、岐阜県警察、神奈川県警察等	司法面接の警察トレーナーを中心としたフォローアップ検討会	金沢大学人間社会研究域人間科学系	赤嶺亜紀	2022年9月1日(木)～ 9月2日(金)	司法面接 警察 研修プログラムの計画
6	日進市以外の行政機関、他大学、専門職業人	石川県警察、岐阜県警察、兵庫県警察等	第2回司法面接の警察トレーナーを中心としたフォローアップ検討会	金沢大学人間社会研究域人間科学系	赤嶺亜紀	2023年2月11日(土)～ 2月12日(日)	司法面接 警察 研修プログラムの計画 面接演習
7	日進市、企業、NPO等	日進市地域福祉課、三洋堂書店、一般社団法人SOWHAT	障害について考えるアートブックカバーづくりABC	メディア造形学部	井垣理史	2022年12月3日、4日、 9-11日	書店来店者を対象にブックカバーの制作を通して障害について考えてもらうイベントを実施
8	日進市	日進市行政課	投票率向上プロジェクト	メディア造形学部	井垣理史	2022年6月～ 2023年4月	2022年参院選、2023年2月の愛知県知事選挙、2023年4月の日進市長・市会議員一般選挙の投票率向上のため、ポスター掲示、Instagramでの宣伝、学内投票所(不在者・期日前)の設置をおこなった。

9	日進市	日進市健康福祉部健康課	いきいき健康プランにっしん21ワーキンググループ研究会	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	加古有子	2022年6月14日 2023年2月16日	日進市のウォーキング事業の報告を受け、ヘルピーウォーキングマップの活用法を考える。
10	他大学	コトバdeあそびきらっと☆びかっ(愛知学泉大学 宮武里衣准教授との研究ユニット名)	コトバを育てるワークショップ ー♪オノマトペあそびin大府♪ー	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	加古有子	2022年12月17日	オノマトペをテーマとしたコトバの遊び&学びのワークショップを実施した。学生によるお楽しみ会と大学教員による講座の2部構成。
11	日進市以外の行政機関	東浦町教育委員会	東浦町教育委員会定例会議	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年4月1日～2023年3月31日(毎月1回程度)	東浦町内の教育活動に関する協議ならびに提言
12	日進市以外の行政機関	東浦町社会福祉協議会	東浦町社会福祉協議会定時理事会	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年6月2日、12月15日、2023年3月16日	東浦町における社会福祉活動に関わる経過状況や問題点・対策・運営に対する提言
13	日進市以外の行政機関	東浦町教育委員会	東浦町総合教育会議	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2023年1月30日	東浦町における教育活動に関わる問題点や対策・運営に対する提言
14	日進市以外の行政機関	半田市教育委員会	半田市教育点検評価会議	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年7月14日	半田市教育委員会事業点検評価、教育行政に関する組織・運営に対する提言
15	その他の教育機関	文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課教育制度改革室	令和4年度市町村教育委員会オンライン協議会	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年9月8日	「令和の日本型学校教育」の構築、全国各教育委員会の取り組み
16	日進市以外の行政機関	大府市	大府市ビジュアルプロモーションマーク選定委員会委員長	ヒューマンケア学部	水谷誠孝	2022年4月1日～12月28日	大府市は、市のイメージを視覚的に表現するビジュアルプロモーションマークを全国公募した。デザイン募集で予想を上回る315作品もの提案があり、有識者からの審査・選定や市民などへの意見公募により、1作品を採用した。今後、市の統一的なブランド展開を効果的に進めるため、このマークをさまざまな場面で活用する。5名の有識者が選定委員として組織され、委員長を務めた。 https://www.city.obu.aichi.jp/shisei/koho/1021875/index.html
17	NPO等	NPO法人 楠	地域生活支援活動	看護学部	永井邦芳	2023年4月1日～2023年3月31日	精神障がい者支援
18	日進市以外の行政機関	千種区保健福祉センター	千種つるかめセミナー	栄養科学研究科	下方浩史	2022年7月21日	講話「フレイル予防(栄養編)について」
19	日進市以外の行政機関	食育推進全国大会愛知実行委員会	第17回食育推進全国大会inあいち「栄養と運動から導く『健康寿命トークセッション』」	健康・栄養研究所	下方浩史	2022年6月19日	講演「健康寿命と栄養～食事で健康寿命は延ばせる～」

20	NPO等	日進絆子ども食堂	さかな丸ごと食育	管理栄養学部	安達内美子	2023年3月12日	さかな丸ごと食育絵本の読み聞かせ等
21	日進市	日進市役所 環境課	にしん環境市民協議会2022	サービスラーニングセンター	石原貴代	2022年11月23日	「第2次日進ん氏環境基本計画」の策定に係る市民討議

2-3. 産官学協同研究センターの協同プロジェクト

番号	連携先分類	連携先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など
1	日進市	日進市(防災交通課)	日進市自動運転バスARMA(アルマ)フルラッピングデザイン	メディア造形学部, 産官学共同研究センター	富安由紀子・黄ロビン・小林克司	2022年10月4日～ 2023年1月25日	日進市自動運転バスARMA(アルマ)フルラッピングデザイン
2	日進市, 企業	興亜商事株式会社・日進市(市民協働課)	マコモダケ商品パッケージデザイン(日進市ふるさと納税返礼品)	メディア造形学部	尹成濟	2022年4月～	マコモダケ商品パッケージデザイン制作
3	企業, 中部デザイン団体協議会(CCDO)	中部デザイン団体協議会(CCDO)・国際デザインセンター	Creative Collaboration デザイン系大学・専門学校の産官学連携デザイン展	メディア造形学部, 産官学共同研究センター	富安由紀子	2022年12月14日～ 12月19日	Creative Collaboration デザイン系大学・専門学校の産官学連携デザイン展への出展
4	日進市, 日進市指定管理者:アクトイオ株式会社	岩崎城歴史記念館(日進市指定管理者:アクトイオ株式会社)	光と映像のミュージアム	メディア造形学部	齋藤正和	2022年5月～ 2022年11月13日	第36回日進市菊花大会期間における岩崎城内作品展示
5	日進市	日進市(生涯学習課)	日進市(生涯学習課)との官学協同プロジェクト	メディア造形学部, 産官学共同研究センター	富安由紀子	2013年3月15日～	日進市家庭教育推進委員会合同情報誌「かすい」の表紙デザイン制作(年1回)
6	日進市	日進市(生涯学習課)	日進市(生涯学習課)との官学協同プロジェクト	メディア造形学部, 産官学共同研究センター	富安由紀子	2007年4月1日～	日進市生涯学習情報誌「PLAN」表紙デザイン制作(年3回)
7	企業	株式会社ドリーム	産学協同開発商品「リフトカチューシャミヒッパー」	メディア造形学部	黄ロビン	2022年12月8日(木)～	産学協同開発商品「リフトカチューシャミヒッパー」新発売
8	企業	株式会社ドリーム	株式会社ドリームとの産学協同プロジェクト	メディア造形学部, 産官学共同研究センター	黄ロビン・富安由紀子	2022年4月27日～ 2022年11月25日	新商品開発「おうち時間が充実する・楽しくなるグッズ」「家事が楽しくなるグッズ」
9	企業	ニスト学習塾	ニスト学習塾との産学協同プロジェクト	メディア造形学部, 産官学共同研究センター	富安由紀子	2022年8月8日～ 2022年10月31日	愛知環状鉄道に掲示するニスト学習塾の交通広告制作
10	日進市以外の行政機関, 医療・保健機関	愛知県(健康対策課)・愛知県歯科医師会・愛知県歯科衛生士会	愛知県(健康対策課)との官学協同プロジェクト	メディア造形学部, 産官学共同研究センター	富安由紀子	2022年6月16日～ 2022年11月27日	歯科衛生士応援ガイド「キャリアアップアイランド」の編集・デザイン制作

11	企業	JR東海(東海旅客鉄道株式会社)	JR東海との産学協同プロジェクト	メディア造形学部	尹成濟	2022年6月22日～ 2022年12月26日	JR東海沿線のお取り寄せWebサイト『いいもの探訪』の「ものと生産者の魅力を伝える特集ページ」の制作／生産者:結の舟(岐阜県岐阜市／鮎のなれずしの製造・販売)
12	企業	JR東海(東海旅客鉄道株式会社)	JR東海との産学協同プロジェクト	メディア造形学部	柴田知司	2022年6月22日～ 12月26日	JR東海沿線のお取り寄せWebサイト『いいもの探訪』の「ものと生産者の魅力を伝える特集ページ」の制作／生産者:株式会社カネナカ(愛知県豊橋市／長坂養鰻場三河一色産鰻蒲焼の製造・販売)
13	企業	プライムツリー赤池	プライムツリー赤池との産学協同プロジェクト	メディア造形学部	尹成濟	2022年5月31日～ 2022年11月5日	ショッピングモール「プライムツリー赤池」におけるイルミネーションデザイン・企画・制作・ワークショップ運営。
14	名古屋市立工業研究所	Musubuラボの中小企業会員にデザインセミナー(講演+技術指導)	OEMからODMへデザイン力を高めて自社ブランド商品を立ち上げる-	メディア造形学部	黄ロビン	2022年8月26日	事例を通して、デザイン主導(ODM)の開発手法を紹介、その後ワークショップ形式で体験

2-4. その他(研究・教育連携)

番号	連携先分類	連携先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など
1	他大学	愛知教育大学地域連携課	スクールリーダー研修 「GIGAスクール構想の実現に向けた授業・学校づくり」	愛知教育大学	清水克博	2022年7月1日～ 2022年8月31日	愛知県下の教育委員会指導主事、小中高等学校・特別支援学校の管理職を対象とした研修として「GIGAスクール構想の実現に向けた授業・学校づくり」のための教育行政の在り方をテーマに講義をオンデマンドで行った。
2	日進市	日進市 市民協働課	幼児児童向けSDGs事業「お話絵本と親子で楽しむ野菜料理ー野菜を美味しく食べるためにー」	ヒューマンケア学部	大島 光代	2022年11月19日(土)	ほうれん草のオリジナル絵本・オリジナルソング・しいたけのオリジナル絵本・オリジナルソング・きのこのお話・ほうれん草としいたけの栄養について
3	企業	ソニーストア栄店 コーディネイト:エイトデザイン、ハチカグ	展覧会「感動画展」	メディア造形学部	齋藤正和	2023年2月20日～ 2月28日	ソニーストア栄店の店頭モニター16台を用いた映像作品の発表会

3-1. 社会人教育(公開講座・生涯教育含む)

番号	連携先分類	対象者	講座等主催者	内容	所属	氏名	日時	活動内容など	活動場所など
1	日進市以外の行政機関	専門職業人	沖縄県名護市役所	やんばる保育保健研修会	看護学部	金城やす子	2022年11月22日	30人ほどの保育士や市職員対象に、こどもの救急処置、BLS、異物除去等の講義及び演習を行った。	名護市役所会議室
2	日進市以外の行政機関、一般市民	一般社会人	瀬戸市	子育て講座	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年12月16日	子育て講座	
3	日進市以外の行政機関、一般市民	一般社会人	瀬戸市	子育て講座	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年11月18日	子育て講座	
4	公益社団法人)青年海外協力協会	JICA海外協力隊員	公益社団法人)青年海外協力協会	2021年度5次隊JICA海外協力隊 課題別派遣前訓練(地域看護)	看護学部	八田早恵子	2022年4月1日	5月にパラグアイ、ガボン等に赴任予定の看護師助産師隊員へ「途上国の母子保健」について講義を2時間行った。	Zoom
5	日進市	一般社会人	日進市大学連携講座講師	「ピアノの発展とベートーヴェンのピアノ・ソナタの深い関係」	ヒューマンケア学部	岡田 暁子	2022年10月8日	ピアノ演奏を交えながら、ピアノの発展とベートーヴェンピアノソナタについて講演を行った。	日進市民会館小ホール
6	日進市、一般市民	一般社会人	日進市生涯学習課	日進市民講座「ケンゾウ・クッキング〜健康増進のための料理教室〜」	管理栄養学部	藤木理代	2022年5月〜10月	健康増進のための料理教室	日進市民会館
7	一般市民	一般社会人	朝日カルチャーセンター	遺伝子検査でわかる自分のエネルギー代謝	管理栄養学部	藤木理代	2022年7月22日、9月16日	自分の遺伝的体質に合った身体作りの講座	朝日カルチャーセンター(名古屋校)
8	日進市以外の行政機関、その他の教育機関	一般社会人	瀬戸市	子育て講座	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年10月21日	子育て 遊び 実践	
9	日進市以外の行政機関、その他の教育機関、一般市民		瀬戸市	パパ講座	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月21日	パパの育児講座	
10	日進市以外の行政機関	幼児から一般社会人まで	常滑市青海公民館	本と歌はおともだち	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年8月17日、2023年2月15日、3月15日	テーマに基づく本の紹介と、歌や楽器(ギター)の演奏を鑑賞	常滑市青海公民館

11	日進市	一般社会人	日進市大学 連携講座	見える色、感じる色 一色の効果と私たちの暮らし	メディア造形学部	鷲津かの子	2022年2月21日	視覚、色、色彩文化、カラーユニバーサルデザイン、色の効果	日進市民会館 2階会議室
12	日進市	一般社会人	名古屋学芸大学地域連携推進研究機構	2022年度名古屋学芸大学公開講座(後期)「遺伝子組換え作物ってなに？」	管理栄養学部	間崎剛	2022年12月17日	2022年度名古屋学芸大学公開講座(後期)	名古屋学芸大学
13	日進市以外の行政機関	65歳以上の千種区民	千種区保健福祉センター	千種つるかめセミナー	栄養科学研究科	下方浩史	2022年7月21日	講話「フレイル予防(栄養編)について」	千種文化小劇場
14	日進市以外の行政機関		食育推進全国大会愛知実行委員会	第17回食育推進全国大会inあいち「栄養と運動から導く『健康寿命トークセッション』」	健康・栄養研究所	下方浩史	2022年6月19日	講演「健康寿命と栄養～食事で健康寿命は延ばせる～」	愛知県国際展示場
15	日進市以外の行政機関	一般社会人	名古屋市	名古屋市共働きカプルのためのパパママ教室	別科助産学専攻	糟谷ちひろ	2020年10月から毎月2～3回程度	名古屋市在住の出産を控えた共働きカプルを対象に育児等の講義を行う	Zoom(オンライン版)、758キッズステーション(対面版)
16	日進市、日進市以外の行政機関	一般社会人	・日進市大学連携講座 ・栄養教員・学校栄養職員/名古屋市教育委員会	・噛む力と認知機能の関係、よく噛んで健康長寿を目指しましょう。	看護学部、看護学研究科	穴井美恵	2022年3月5日、2021年8月25日	高齢者、咀嚼、生活習慣病、認知機能、	ZOOM,名古屋市
17	専門職業人	専門職業人	名古屋学芸大学 健康・栄養研究所	食品安全マネジメントシステム研修会(水産分野における食品衛生とFSMS)	管理栄養学部、健康・栄養研究所	岸本満	2023年3月10日	テーマ:水産分野における食品衛生とFSMS 講師:水産大学校 准教授 古下学氏	名古屋外国語大学名駅キャンパス

3-2. 職業人教育

番号	連携先分類	対象者	講座等主催者	内容	所属	氏名	日時	活動内容など	活動場所など
1	日進市以外の行政機関、他大学、専門職業人	専門職業人	石川県警察、岐阜県警察、神奈川県警察等	司法面接の警察トレーナーを中心としたフォローアップ検討会	金沢大学人間社会研究域人間科学系	赤嶺亜紀	2022年 9月1日(木)～ 9月2日(金)	司法面接 警察研修プログラムの計画	石川県警察本部
2	日進市以外の行政機関、他大学、専門職業人	専門職業人	石川県警察、岐阜県警察、兵庫県警察等	第2回司法面接の警察トレーナーを中心としたフォローアップ検討会	金沢大学人間社会研究域人間科学系	赤嶺亜紀	2023年 2月11日(土)～ 2月12日(日)	司法面接 警察研修プログラムの計画 面接演習	立命館大学いばらきキャンパス

3	日進市以外の行政機関	専門職業人	沖縄県名護市役所	やんばる保育保健研修会	看護学部	金城やす子	2022年11月22日	30人ほどの保育士や市職員対象に、こどもの救急処置、BLS、異物除去等の講義及び演習を行った。	名護市役所会議室
4	専門職業人、保育士	専門職業人	京都府保育協会	保育士キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	看護学部	金城やす子	2022年11月1日	保育保健計画の作成、保育園における感染予防対策	ZOOM研修
5	日進市以外の行政機関、専門職業人	専門職業人	刈谷市立富士松北保育園	園内研修	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2023年2月16日	保育者の現職教育 保育の環境 子どもの主体性	
6	日進市以外の行政機関、専門職業人	専門職業人	刈谷市立富士松南保育園	園内研修	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2023年2月2日	保育者の現職教育 保育の環境	
7	日進市以外の行政機関、専門職業人	専門職業人	半田市	公開研修	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2023年1月31日	保育者の現職教育 保育の環境 子どもの主体性	
8	日進市以外の行政機関、専門職業人		名古屋市	保育者対象の講座	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2022年1月11日	保育者の現職教育 保育の環境 子どもの主体性	
9	日進市以外の行政機関、専門職業人	専門職業人	名古屋市	保育者対象の講演会	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2022年12月24日	保育者の現職教育 子どもの主体性を尊重する環境	
10	日進市以外の行政機関、その他の教育機関、専門職業人	専門職業人	豊田市立挙母こども園	園内研修	ヒューマンケア学部、こどもケア研究科、こどもケアセンター	渡辺桜	2022年11月8日	現職教育 保育の環境	
11	公益社団法人)青年海外協力協会	JICA海外協力隊員	公益社団法人)青年海外協力協会	2021年度5次隊JICA海外協力隊 課題別派遣前訓練(地域看護)	看護学部	八田早恵子	2022年4月1日	5月にパラグアイ、ガボン等に赴任 予定の看護師助産師隊員へ「途上国の母子保健」について講義を2時間行った。	Zoom
12	公益社団法人)青年海外協力協会		公益社団法人)青年海外協力協会	2022年度3次隊JICA海外協力隊課題別派遣前訓練(地域看護)	看護学部	八田早恵子	2023年1月11日	セネガルに派遣 予定の看護師隊員へ、「途上国の母子保健」について2時間の講義を行った。	Zoom
13	公益社団法人)青年海外協力協会		公益社団法人)青年海外協力協会	2022年度2次隊課題別派遣前訓練(地域看護)	看護学部	八田早恵子	2022年10月5日	11月にウズベキスタン、パラグアイに派遣される看護師保健師隊員へ、「途上国の母子保健」について2時間講義を行った。	Zoom

14	医療・保健機関	専門職業人	国立病院機構東海北陸グループ	助産師・看護師実習指導者講習会	看護学部	信組麻里	2022年9月22日	実習指導方法論 成人看護学の講義	Cisco Webex
15	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	豊田市伊保こども園	園内研修 保育環境	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年10月25日	保育者の現職教育 保育環境	
16	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	豊田市大草こども園	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年10月18日	保育者の現職教育 保育環境	
17	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	豊川市	講演会 保育環境	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年10月4日	保育者の現職教育 保育環境	
18	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	名古屋市中区	講演会 保育環境	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年9月10日	保育者の現職教育 保育環境	
19	日進市以外の行政機関,幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校,専門職業人	専門職業人	刈谷市	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年9月6日	保育者の現職教育 保育環境	
20	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	弥富市	公開研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月26日	保育者の現職教育 保育環境	
21	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	渡辺桜	園内研修	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月26日	保育者の現職教育 保育環境	
22	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	名古屋市中区	講演会	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月19日	保育者の現職教育 保育環境	
23	日進市以外の行政機関,幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	三河幼稚園・こども園教育研究会	講演会	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年8月18日	講演会	
24	日進市以外の行政機関,その他の教育機関,専門職業人	専門職業人	西尾市	保育者の現職教育	ヒューマンケア学部,こどもケア研究科,こどもケアセンター	渡辺桜	2022年7月26日	保育者対象の講演会	

25	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	半田市	保育者の現職教育	ヒューマンケア学部, 看護学研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年7月19日	公開研修	
26	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	東海市	保育者の現職教育	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年7月12日	環境研修	
27	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	武豊町	公開保育	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年6月28日	保育者の現職教育	
28	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	豊田市立伊保こども園	園内研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月21日	保育者の現職教育	
29	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	豊田市立挙母こども園	園内研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月31日	保育者の現職教育	
30	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	豊田市立伊保こども園	園内研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月27日	保育者の現職教育	
31	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	東海市立加木屋保育園	園内研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月24日	保育者の現職研修	
32	日進市以外の行政機関, その他の教育機関, 専門職業人	専門職業人	にしのまち保育園	保育者の現職研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月21日	保育者の現職教育	
33	日進市以外の行政機関, その他の教育機関	専門職業人	豊田市大草こども園	園内研修	ヒューマンケア学部, こどもケア研究科, こどもケアセンター	渡辺桜	2022年5月10日	保育者の現職教育	
34	公益財団法人愛知県学校給食会		公益財団法人愛知県学校給食会	令和4年度学校給食料理講習会講師 調理実習「加工品を利用して」講義「2022食品成分表について」	管理栄養学部	岡田希和子	2022年12月26日	令和4年度学校給食料理講習会講師	
35	日進市以外の行政機関	専門職業人	愛知県総合教育センター(愛知県教育委員会)研修部	令和4年度小学校中堅教諭資質向上研修(後期)	ヒューマンケア学部	浅田謙司	2022年12月26日	小学校における中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭の資質・能力向上	愛知県総合教育センター講堂

36	専門職業人	専門職業人	静岡県教育委員会	静岡県中堅教諭等資質向上研修(養護教員)専門研修	ヒューマンケア学部	近森けいこ	2022年12月5日	養護教諭が行う生きる力を育む健康教育	静岡県総合教育センター
37	専門職業人	専門職業人	愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・JKYBライフスキル教育研究会・	ライフスキル教育セミナー	ヒューマンケア学部	近森けいこ	2022年5月7日	いじめ防止教育の理論と実践について参加型研修を展開した	名古屋学芸大学名城前医療キャンパス
38	日進市以外の行政機関, 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	保育士, 幼稚園教諭	碧南市役所福祉こども部こども課	公開保育研修	ヒューマンケア学部	加藤望	2022年7月28日, 2023年1月26日	3歳児及び5歳児クラスの公開保育を拝見し, 参加者が協議ののち, 振り返りの時間に指導助言を行う。	羽久手保育園, 荒子保育園
39	日進市以外の行政機関	専門職業人	岐阜県保健医療課	行政栄養士新任期研修	管理栄養学部	川崎和彦	2022年7月11日・2023年2月13日	地域の健康課題等を把握する能力をの育成	岐阜県庁
40	愛知県信用金庫健康保険組合	信用金庫の役員および人事・総務部長クラス	愛知県信用金庫健康保険組合	愛知県信用金庫協会 勉強会 健康管理セミナー	栄養科学研究科	下方浩史	2022年9月14日	講話:「健康寿命と栄養～食事で健康寿命は延ばせる～」	名古屋銀行協会(名古屋市中区丸の内)
41	日進市以外の行政機関	専門職業人	茨城県立健康プラザ 健康づくり情報部	令和4年度健康づくり指導者研修会 保険事業推進研修会「包括的なフレイルの予防策」	栄養科学研究科, 健康・栄養研究所	下方浩史	2022年6月16日	講義:フレイル予防～栄養の側面から～、ディスカッション:包括的なフレイル予防について考える	ZOOM
42	日進市以外の行政機関	専門職業人	滋賀県教育委員会	令和4年度須賀県学校給食研究大会 安全・安心な学校給食推進講習会	管理栄養学部	岸本満	2022年8月9日	食育の推進と学校給食の充実	滋賀県立県民交流センター
43	専門職業人	専門職業人	名古屋学芸大学 健康・栄養研究所	食品安全マネジメントシステム研修会(官学によるFSMS構築支援:北海道では官学でHACCP/FSMSを支援しています)	管理栄養学部, 健康・栄養研究所	岸本満	2023年2月17日	テーマ:官学によるFSMS構築支援演題「北海道では官学でHACCP/FSMSを支援しています」講師:帯広畜産大学客員教授 通山志保氏、	名古屋外国語大学名駅キャンパス
44	専門職業人	専門職業人	名古屋学芸大学 健康・栄養研究所	食品安全マネジメントシステム研修会(水産分野における食品衛生とFSMS)	管理栄養学部, 健康・栄養研究所	岸本満	2023年3月10日	テーマ:水産分野における食品衛生とFSMS 講師:水産大学校 准教授 古下学氏	名古屋外国語大学名駅キャンパス

45	専門職業人	専門職業人	名古屋学芸大学 健康・栄耀研究所	令和4年度中堅栄養教諭資質向上研修[前期]講師	管理栄養学部, 健康・栄養研究所	岸本満	2022年8月5日	愛知県栄養教諭20名が参加。岸本満が「HACCPの考え方に基いた衛生管理の実践」をテーマに講義、給食経営管理実習室見学、全体討論が行われた。	名古屋学芸大学 日進キャンパス611
----	-------	-------	------------------	-------------------------	------------------	-----	-----------	--	--------------------

3-3. 地域人材の育成

番号	連携先分類	対象者	連携先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など	活動場所など
1	日進市以外の行政機関	専門職業人	沖縄県名護市役所	やんばる保育保健研修会	看護学部	金城やす子	2022年11月22日	30人ほどの保育士や市職員対象に、こどもの救急処置、BLS、異物除去等の講義及び演習を行った。	名護市役所会議室
2	日進市以外の行政機関	一般社会人	東海市教育委員会 東海市立中央図書館	読み聞かせボランティア講座	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	加古有子	2022年7月9日 2022年7月16日 (連続2回講座)	読み聞かせ活動に興味のある方(活動未経験者が主)が選書方法や読み方などの技術を学ぶ基本講座で講師を務めた。	東海市立横須賀図書館
3	日進市以外の行政機関		幸田町健康福祉部健康課	こうた食生活改善ボランティア講座 健康長寿とフレイルについて	管理栄養学部	岡田希和子	2023年2月10日	こうた食生活改善ボランティア講座講師	
4	日進市以外の行政機関	食生活改善ボランティア養成	幸田町健康福祉部健康課	こうた食生活改善ボランティア養成講座 健康長寿とフレイルについて	管理栄養学部	岡田希和子	2022年12月16日	食生活改善ボランティア養成講座講師	
5	専門職業人	専門職業人	静岡県教育委員会	静岡県中堅教諭等資質向上研修(養護教員)専門研修	ヒューマンケア学部	近森けいこ	2022年12月5日	養護教諭が行う生きる力を育む健康教育	静岡県総合教育センター
6	日進市, 日進市以外の行政機関	一般社会人	・日進市大学連携講座 ・栄養教員・学校栄養職員/名古屋学芸大学教育委員会	・嚙む力と認知機能の関係・よく噛んで健康長寿を目指しましょう。	看護学部, 看護学研究科	穴井美恵	2022年3月5日, 2021年8月25日	高齢者、咀嚼、生活習慣病、認知機能、	ZOOM, 名古屋市

3-4. 幼・小・中・高生教育

番号	連携先分類	対象者	連携先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など	活動場所など
1	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	学生(幼・小・中・高校生等)	愛知県立豊川特別支援学校 高等部	特別支援学校におけるALTを活用したCLILに関する研究	ヒューマンケア学部, 教養教育機構	鈴木 薫	2022年9月5日・11月1日	外国人講師を派遣し、「数学」「音楽」「体育」「自立活動」におけるCLIL(内容言語統合型学習)の研究調査を実施	
2	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	学生(幼・小・中・高校生等)	愛知県立豊橋特別支援学校 小学部	特別支援学校の英語授業におけるALT導入の効果に関する研究	ヒューマンケア学部, 教養教育機構	鈴木 薫	2022年9月27日・10月11日・12月6日・12月20日	ALTとして外国人講師を派遣し、英語教育に関する研究調査を実施	愛知県立豊橋特別支援学校
3	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	専門職業人	愛知県立豊橋豊学校 高等部	特別支援学校の英語授業におけるALT導入の効果に関する研究	ヒューマンケア学部, 教養教育機構	鈴木 薫	10月18日・10月25日	ALTとして外国人講師を派遣し、英語教育に関する研究調査を実施	
4	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	学生(幼・小・中・高校生等)	中高生/ 愛知県立岡崎特別支援学校 中学部・高等部	特別支援学校の英語授業におけるALT導入の効果に関する研究	ヒューマンケア学部, 教養教育機構	鈴木 薫	2022年9月20日・9月27日・10月4日・11月8日・12月20日	ALTとして外国人講師を派遣し、英語教育に関する研究調査を実施	愛知県立岡崎特別支援学校
5	一般市民		参加希望親子を対象	親力アップセミナー	こどもケアセンター	渡辺 桜	2022年10月7日、10月14日、11月2日、11月15日、12月8日、12月14日	専門家の話や実技指導を通して楽しみながら子育てについて学んだり、心身のリフレッシュを図ったりする	
6	一般市民	0歳、1歳の親子	参加希望親子を対象	親子のひろば	こどもケアセンター	渡辺 桜	2022年4月～11月 全6回の連続講座	子育てについて仲間と一緒に考え合う機会を提供し、家庭での子育てを支援する	
7	一般市民	0～2歳児の未就園児の親子	参加希望親子を対象にしているので組織名は特になし	親子であそぼう会	こどもケアセンター	渡辺桜	2022年7月27日、7月29日、9月7日、9月28日、11月9日、12月21日、2023年1月25日	季節や行事、年齢に合わせた遊びを親子で楽しむ	
8	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	学生(幼・小・中・高校生等)	名城大学附属高等学校 教育講座	これからの教育	名城大学附属高等学校	清水克博	2022年9月6日	名城大学附属高等学校の普通科2年生の教職志望学生に対して「これからの教育」をテーマに講演を行った	名城大学附属高等学校
9	他大学, 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	学生(幼・小・中・高校生等)	コトバdeあそびきらっと☆びかっと(愛知学泉大学 宮武里衣准教授との研究ユニット名)	おのまとぺでう たおう いんむつみほくぶ小ががっこう	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	加古有子	2023年3月10日	1年生向けのことばに関する体験型授業 オノマトペで替え歌を作るワークショップ	岡崎市立六ツ美北部小学校

10	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	学生(幼・小・中・高校生等)	岡崎市立上地小学校	「どうしてをそうなんだ！に変えるコミュニケーション術」	ヒューマンケア学部	鈴木かをる	2022年7月1日	保健委員会のアンケート回答とコミュニケーション術について	岡崎市立上地小学校
11	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校	学生(幼・小・中・高校生等)	岡崎市立六ツ美中学校	令和4年度学校保健委員会講師「コミュニケーションの入り口を探そう」	管理栄養学部, ヒューマンケア学部	鈴木かをる	2022年11月11日	脳の使い方とコミュニケーションの取り方について	六ツ美中学校体育館
12	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校, 医療・保健機関	学生(幼・小・中・高校生等)	岐阜県立関高等学校	持続可能な発展のために私たちができること～食品ロスから考える～	管理栄養学部	安達内美子	2022年12月23日	食品ロスとまちづくりについての模擬授業	
13	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・専門学校, 企業, 財団	学生(幼・小・中・高校生等)	日本財団(テレビ愛知)	日本さばけるプロジェクト	管理栄養学部	安達内美子	2022年12月17日	さかなと環境について学び魚を捌く	瀬戸市立萩山小学校

3-5. 学生ボランティア(各学部、学科、研究室経由または授業関連)

番号	連携先分類	対象者	活動先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など	活動場所など
1	企業		野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	メガロスのキッズスクール生に対する食育	管理栄養学部	安友裕子	2020年度～	メガロスのキッズスクール生を対象とした栄養や運動に関する調査、食育、おやつ監修などを行っている。	
2	他大学		名城大学アメリカンフットボール部	体重やコンディショニング管理のための栄養指導	管理栄養学部	大嶋里美	2021年度～	選手に対する体重やコンディショニング管理のための栄養指導	
3	一般市民	一般社会人	参加希望親子を対象	遊びの交流会	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	渡辺 桜	2022年11月6日、2023年3月5日	学生が協力して地域の子どもたちに楽しい企画を提供する	
4	他大学	年少～小学2年生のお子さんと保護者	コトバdeあそびきらつと☆びかつと(愛知学泉大学宮武里衣准教授との研究ユニット名)	コトバを育てるワークショップー♪オノマトペdeあそびin大府♪ー	ヒューマンケア学部, こどもケアセンター	加古有子	2022年12月17日	オノマトペをテーマとしたコトバの遊び&学びのワークショップを実施した。学生によるお楽しみ会と大学教員による講座の2部構成。	愛三文化会館
5	日進市	企画は中学生以下向け	竹の山自治会	竹の山ふれあい夏祭り	ヒューマンケア学部	石原貴代	8月27日	地域のお祭りでの子ども参加ブースでフードライブの啓発	竹の山小学校グラウンド
6	日進市	学生(幼・小・中・高校生等)	日進市	日進市民祭り	ヒューマンケア学部	岸本満	2022年11月20日	日進市民祭りにおいて、企画運営(子どもの遊び場)	日進市役所周辺

3-6. 学生ボランティア (SLセンター経由)

番号	連携先分類	対象者	活動主体	内容	参加人数	日時	活動内容など	活動場所など
1	日進市以外の行政機関	南相馬市にお住いの方々	福島県南相馬市イノベーション政策課復興推進係	2022年度みなみそうまSL 食と環境を考えるプロジェクト	学生19人 教員2人	2023年2月24日～27日 2022年7月11日～2023年3月31日	道の駅南相馬での学生企画イベントの実施 東日本大震災の震災遺構などの見学	南相馬市小高区・鹿島区 道の駅南相馬 東日本大震災・原子力災害伝承館、震災遺構・浪江町立請戸小学校
2	一般市民		あいち国際女性映画祭2022	あいち国際女性映画祭2022ボランティア	13名	2022年9月8日～2022年9月11日	映画祭の準備・運営・影アナウンス・監督対応・チケットもぎり・入場者対応	ウイルあいち・ミッドランドスクエアシネマ
3	日進市	学生(幼・小・中・高校生等)	日進市絆子ども食堂	子ども食堂での調理	7人	2022年6月12日・7月10日・1月9日	子ども食堂での調理	にぎわい交流館
4	その他の教育機関	学生(幼・小・中・高校生等)	中日青葉学園	中日青葉学園ボランティア	6人	2022年6月11日	子どもたちと触れ合い体験	中日青葉学園
5	その他の教育機関	学生(幼・小・中・高校生等)	中日青葉学園	中日青葉学園で救急法の指導補助	3名	2022年7月10日	子ども達の理解と病院医師による救急法指導の補助	中日青葉学園
6	特定非営利活動法人	障がい者	スペシャルオリンピックス日本・愛知	コーチクリニック	1名	2022年8月20日	知的障がい者の運動支援	
7	その他の教育機関	学生(幼・小・中・高校生等)	放課後ディサービスフォーリーフ	子ども支援	4人	2022年10月～12月	子ども支援	放課後ディサービスフォーリーフ
8	NPO等		モリコロパーク周辺	やろまいか！愛・地クリーン作戦！！	11人	2022年5月29日、10月30日、12月4日、12月18日	モリコロパーク周辺道路の清掃活動	モリコロパーク周辺道路
9	NPO等		藤前干潟	藤前干潟クリーン作戦	7名	2022年5月28日、10月22日	藤前干潟の清掃	藤前干潟
10	岡崎市子ども食堂	学生(幼・小・中・高校生等)	岡崎市社会福祉協議会	子ども食堂 ニコニコごはん	1	2022年8月19日	子ども食堂で調理ボランティア	ニコニコごはん
11	NPO等	障がい者	スペシャルオリンピックス日本・愛知	スペシャルオリンピックス愛知 みんなでダンサーダレデモダンス体験ー	2	2022年12月4日	知的障がいがあるアスリートと一緒にダンスをする	名古屋中学校・高等学校 体育館
12	他大学	大学生・大学院生	名古屋外国語大学	秋のレシピのレンチンレシピ	3	2022年8月25日	レンジでチンして美味しいメニューを考え、作る。マス研新聞に掲載(記事・動画)	名古屋学芸大学
13	日進市以外の行政機関		岐阜美術館	清流のくにぎふ芸術祭	1	2023年3月31日	制作補助: 作品搬入、設置手伝いなど	岐阜県美術館

3-7. 学生ボランティア(教職センター経由、その他)

番号	連携先分類	対象者	活動主体	内容	所属	参加者	日時	活動内容など	活動場所など

4. その他の連携(施設開放など)

番号	連携先分類	対象者	対象/依頼先	内容	所属	氏名	日時	活動内容など	活動場所など
1	NPO等		NPO法人囊胞性線維症支援ネットワーク	NPO法人囊胞性線維症支援ネットワーク理事	管理栄養学部	藤木理代	2019年6月～	囊胞性線維症患者の支援	
2	他大学		名古屋大学	厚生労働省難治性疾患政策研究事業	管理栄養学部	藤木理代	2007年度～	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	
3	日進市, 近隣住民等(20歳以上)	一般社会人	近隣住民等(20歳以上)	施設開放、資料の館内利用・複写	図書館	藤井省三	2003年～	近隣住民の方の生涯学習や研究活動に資するため地域に開放	

IV. 資料

1. 名古屋学芸大学地域連携推進研究機構規程

(趣旨)

第1条 本規程は、名古屋学芸大学学則第63条の2第2項の規定に基づき、名古屋学芸大学地域連携推進研究機構（以下「機構」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 機構は、名古屋学芸大学（以下「本学」という。）の、学長のリーダーシップの下、本学における地域連携（産官学連携を含めた連携をいう。以下同じ。）の推進に係る基本方針等を検討し、施策を推進することを目的とする。

(業務)

第3条 本機構は、前条に掲げる目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- 一 地域連携推進に係る方針の策定に関すること
- 二 地域連携研究の実施、社会実装の推進及びその支援に関すること
- 三 サービスラーニングセンターの運営に関すること
- 四 地域連携、地域貢献活動及び関連する教育・研究成果の広報に関すること
- 五 公開講座の実施・運営に関すること
- 六 その他全学的な地域連携推進に関すること

(教職員)

第4条 機構に、次の教職員を置く。

- 一 機構長
- 二 副機構長
- 三 ボランティアコーディネーター
- 四 その他必要な教職員

2 機構に副機構長を置くことができる。

(機構長)

第5条 機構長は、本学の専任の教授のうちから選考する。

- 2 機構長は、機構の業務を掌理する。
- 3 機構長の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 機構長に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(機構長の選考)

第6条 機構長の選考は、「名古屋学芸大学部館科長選考規程」に基づき行う。

(副機構長)

第7条 副機構長を置く場合は、機構長が本学の専任の教職員のうちから選任する。

2 副機構長は、機構長を補佐し、機構の業務を行う。

3 副機構長の任意は2年とし、再任を妨げない。なお、年度途中で副機構長に選任された場合の任期は、機構長の任期の末日とする。

(運営委員会)

第8条 機構に運営委員会を置く。

(審議事項)

第9条 運営委員会は、第3条の業務に関わる重要事項を審議する。

(組織)

第10条 運営委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 機構長
- 二 副学長（教育・研究）
- 三 副機構長
- 四 ボランティアコーディネーター
- 五 各研究科から選出された教員
- 六 各学部及び教養教育機構から選出された教員
- 七 健康・栄養研究所長
- 八 子どもケアセンター長
- 九 産官学協同研究センター長
- 十 事務局長
- 十一 事務局部長
- 十二 その他学長が必要と認めた者

2 前項第四号から第九号の委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。なお、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議及び議事)

第11条 運営委員会は、機構長が招集し、その議長となる。ただし、機構長に事故あるときは、機構長があらかじめ指名した者がその職務を代行する。

2 会議は、委員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は、出席者の過半数によって決する。

(委員以外の者の出席)

第12条 運営委員会が必要と認めたときは、運営委員会に委員以外の者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(部会)

第13条 運営委員会の下に部会を置くことができる。

2 部会の構成及び運営は、機構長が運営委員会に諮って決定する。

(事務)

第14条 機構の事務は、機構においてこれを担当する。

(雑則)

第15条 この規程に定めるもののほか、機構の組織及び運営等に関し必要な事項は、運営委員会及び評議会の議を経て学長が定める。

附 則

1 この規程は、2018年10月3日から施行する。

附 則

1 この規程は、2019年9月4日から施行する。

附 則

1 この規程は、2021年4月1日から施行する。

附 則

1 この改正は、2022年5月11日から施行し、2022年4月1日に遡及し適用する。

2 本規程の施行に伴い、「名古屋学芸大学サービスラーニングセンター規程」及び「名古屋学芸大学サービスラーニングセンター運営委員会規程」を廃止する。

2. 協定・連携一覧

No.	協定先機関	本学	協定等の名称	調印時期	内容/目的
1	日進市	大学	日進市との連携協力に関する協定	H22. 2. 1	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、地域社会の発展に寄与する。
2	日本赤十字愛知県支部	大学	日本赤十字愛知県支部と名古屋学芸大学との連携協力に関する協定	H26. 11. 13	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、地域社会の発展に寄与する。
3	三重県熊野市	大学	熊野市と名古屋学芸大学との連携協力に関する協定	H27. 6. 4	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、熊野市の地域課題に対して名古屋学芸大学の学術研究成果を活かした効果的な施策展開を図ることで、地域社会の発展に寄与する。
4	愛知県公立高等学校校長会 家庭部会長 (愛知県立成章高校校長)	大学	高大連携に関する協定書	H27. 7. 1	相互に連携して、双方の保有する資源を活用し多様な事業を行うことにより、家庭に関する学科設置校及び名古屋学芸大学の教育の向上を図り、高校と大学の接続を円滑にする。
5	三重県菟野町	大学	菟野町と名古屋学芸大学との包括的連携に関する協定	H27. 7. 16	菟野町と名古屋学芸大学が連携して双方の保有する地域資源、知的資源及び人的資源を活用し、多様な分野で事業を行うことで、菟野町の発展と地域振興に資する。
6	名城大学総合研究所	管理栄養学部	名城大学総合研究所と名古屋学芸大学管理栄養学部との学術研究交流に関する協定	H28. 3. 23	相互に所有する教育資源を両組織の研究活動全般に活用することで研究交流を促進するとともに両組織の学術研究及び教育の一層の充実を図る。
7	愛知学長懇話会 (愛知県内の単位互換事業参加各大学)	大学	愛知学長懇話会による単位互換事業	H14. 4. 1	愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に加盟している大学に所属する学生が、他の大学で開講される様々な科目を履修することができ、かつ、履修した科目が在籍する大学の単位として認められる制度。
8	愛西市長 愛西市農畜産業振興会	大学	愛西市及び愛西市農畜産業振興会と名古屋学芸大学との連携協定に関する協定	H29. 1. 20	三者がそれぞれの資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携協力し、愛西市と愛西市農畜産業振興会が取り組むべき愛西市における地域課題に対して、名古屋学芸大学の学術研究の成果を活かした効果的な施策展開を図ることで、地域社会の発展に寄与することを目的とする。
9	名古屋市中央卸売市場本場 一般社団法人 名古屋市中央卸売市場協会	管理栄養学部	名古屋市中央卸売市場本場、一般社団法人名古屋市中央卸売市場協会及び名古屋学芸大学管理栄養学部との三者間の連携協定	H29. 12. 8	名古屋市中央卸売市場本場、一般社団法人名古屋市中央卸売市場協会の特色ある物的、人的な資源と本学の食に関する専門的な学術研究の成果を有効に活用し、中央卸売市場で取り扱われる生鮮食料品等及びそれらの食に関する施策展開を図ると共に相互の協働による食育活動を推進し、地域住民の健康及び食生活の向上に資する。
10	社会福祉法人中日新聞社会事業団	大学	名古屋学芸大学と社会福祉法人中日新聞社会事業団との連携協定	H29. 12. 15	双方の資源や機能等の活用を図りながら、幅広い分野で相互に連携し、地域社会の発展に寄与する。
11	医療法人尚豊会	管理栄養学部	名古屋学芸大学管理栄養学部と医療法人尚豊会との包括連携協定	H30. 4. 24	学生の教育（インターンシップ）や予防医学分野等の諸課題に対応した調査研究などをはじめ、それぞれの人的資源等の活用と人的交流を通じて、健康意識の向上と予防医療の啓発活動につなげることで地域社会へ貢献する。
12	医療法人大医会	大学	医療法人大医会と名古屋学芸大学との連携協定	H31. 3. 6	学生の教育（インターンシップ）や予防医学分野等の諸課題に対応した調査研究、健康診断利用者への栄養指導などをはじめ、それぞれの人的資源等の活用と人的交流を通じて、健康意識の向上と予防医療の啓発活動につなげることで地域社会へ貢献する。
13	東名古屋医師会医療介護総合研究センター	大学	名古屋学芸大学と東名古屋医師会医療介護総合研究センターとの連携に関する協定	R1. 10. 16	双方の人的資源や機能等の活用を図ることにより、幅広い分野で相互に連携協力し、教育・研究活動の推進及び地域社会における在宅医療・介護事業の発展に寄与する。
14	野村不動産ライフ&スポーツ㈱	管理栄養学部	栄養関連サービス開発・提供に関する契約	R2. 5. 21	相互が発展するために、顧客に向けた栄養指導等に関する開発提供を協力して推進する。
15	イオンモール㈱	管理栄養学部	名古屋学芸大学管理栄養学部とイオンモール㈱とのイオンモール長久手における産学連携に関する協定	R3. 9. 1	多面的に連携・協定し、両者の発展と地域社会・産業界等の活性化や復興、人材育成、教育・文化復興、調査研究の分野で相互に協力し、地域の食・健康に関する課題に対応し、地域社会の持続的な発展に寄与する。
16	生活協同組合コープあいち	管理栄養学部	名古屋学芸大学管理栄養学部と生活協同組合コープあいちとの産学連携協定	R4. 4. 1	地域における産学連携活動を推進するため相互に協力し、もって地域社会の発展に貢献する。

3. 2022 年度地域連携推進研究機構運営委員会委員名簿

職 名	氏 名	備 考
機構長	岸 本 満	1号委員
副学長(教育・研究)	山 本 一 良	2号委員
ボランティアコーディネーター	石 原 貴 代	4号委員
栄養科学研究科	安 達 内美子	5号委員
メディア造形研究科	尹 成 濟	〃
子どもケア研究科	渡 辺 桜	〃
管理栄養学部	(安 達 内美子)	6号委員
〃	井 澤 一 郎	〃
メディア造形学部	(尹 成 濟)	〃
〃	山 本 努 武	〃
〃	錦 見 淳 子	〃
ヒューマンケア学部	酒 井 多香子	〃
看護学部	神 谷 智 子	〃
教養教育機構	(山 本 一 良)	〃
健康・栄養研究所長	下 方 浩 史	7号委員
子どもケアセンター長	(渡 辺 桜)	8号委員
産官学協同研究センター長	富 安 由紀子	9号委員
事務局長	鈴 木 英	10号委員
事務局部長	松 浦 清 彦	11号委員
地域連携推進研究機構 課長	水 野 美恵子	12号委員
産官学協同研究センター	皆 川 優 介	(オブザーバー)

4. 2022 年度食育教材開発 WG メンバー名簿

職 名	氏 名
機構長・管理栄養学部教授	岸 本 満
管理栄養学部教授	安 達 内美子
管理栄養学部准教授	高 田 尚 美
メディア造形学部准教授	井 垣 理 史
ヒューマンケア学部教授	大 島 光 代
ヒューマンケア学部教授	エノー・モローネ・ミッシェル
ヒューマンケア学部准教授	林 麗 子

5. 2022年度(株)芋銀との産学連携プロジェクトWGメンバー名簿

職名	氏名
機構長・管理栄養学部教授	岸本 満
管理栄養学部教授	安達 内美子
管理栄養学部講師	松下 英二
メディア造形学部教授	富安 由紀子
ヒューマンケア学部教授	渡辺 桜
ヒューマンケア学部准教授	井澤 昌子
ヒューマンケア学部准教授	加藤 望
看護学部講師	神谷 智子
産官学協同研究センター専門職員	皆川 優介

名古屋学芸大学 地域連携推進研究機構年報 第4号

2023年9月 発行

発 行 名古屋学芸大学 地域連携推進研究機構
〒470-0196 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57
TEL 0561-75-2270

印 刷 鬼頭印刷株式会社
〒456-0073 愛知県名古屋市熱田区千代田町 3-22
TEL 052-681-1701